

Film
Music
Interactive
Sapporo Creative Convention

10/10-16
OCT. 2016 MONDAY SUNDAY

3つの分野を横に、コンベンション、セミナー、ワークショップ、展示会など、
産業・学術・文化が融合する国際コンベンションが、札幌で遂に開催。
主催：No Maps実行委員会

<http://no-maps.jp>



Sapporo Creative Convention



Film/Music/Interactive

No Maps 2016 事業実施報告

平成29年3月

No Maps実行委員会

I. No Maps 2016 開催概要

(1) No Maps とは？

**新たな技術とクリエイティブなコンテンツが交わる。
ビジネスチャンスやアイデアがそこに生まれる。**

**No Mapsは、そんなビジネスコンベンションを、
北海道から世界に向けて展開していきます。**

いまや、映像、音楽、ITやAIなどのインタラクティブな世界がボーダレスになり、そこから生み出されるものは「新しい領域」「未知の領域」です。

No Mapsは、この連携を通じて、真っ白な地図にその可能性をマッピングしていきます。

これまで札幌国際短編映画祭で培ってきた運営基盤やネットワークを最大限に活用し、ショートフィルムと文化面でも技術面でも相性の良い「音楽」、「インタラクティブ(IT先端技術など)」を加え、3つの分野およびその複合領域において、産業、学術、文化がクロスする、最先端なクリエイティブビジネスの国際コンベンションを開催します。

「コンペティション」、「エキシビション」、「カンファレンス」、「ライブ&スクリーニング」、「ワークショップ」、「ピッチコンテスト」などを軸に、コンテンツビジネスの活性化とグローバル展開の加速化を柱として、若手育成や文化創出も見据えた広がりのある事業を、札幌・北海道から展開していきます。

Sapporo Creative Convention



Film/Music/Interactive

**No Mapsは、様々な取組を通じて、
「新たなビジネスを生み出し、加速させる」
ための場を提供していきます。**

2016年はプレ開催として実施。

**2017年からの本格開催に向けて、多くの方にNo Mapsを知ってもらう
ため、各部門で数多くの事業に取り組みました。**

(2) No Maps 2016 開催概要

- 【開催日】 メイン会期 2016年10月10日（月・祝）～16日（日）
 ※2016年はプレ開催。2017年から本格開催を予定。
 全会期 2016年4月12日（火）～12月31日（土）
- 【開催場所】 札幌市内中心部 ※一部例外あり
- 【事業目的】 ○クリエイティブ産業の活性化と他産業への波及
 ○創業支援・新産業の創造・投資の促進
 ○クリエイティブな市民文化の醸成
 ○札幌・北海道の国際的知名度・魅力の向上
 ○「世界屈指のイノベーティブなまちSAPPORO」の実現
- 【主催】 No Maps実行委員会
- 【WEB/SNS】 ウェブサイト <http://no-maps.jp>
 Twitterアカウント @no_maps
 <Film> @sapporoshort
 <Music> @NoMaps_Music
 <Interactive> @NoMaps_Int
 Facebookページ <http://www.fb.com/NoMaps.jp>

【実施状況】

Film (第11回札幌国際短編映画祭)

世界101の国と地域から3,548本の応募
 特別プログラムと合わせ、計258本を上映
 長編映画、VRシアター等

Music

国内外192組のアーティストがライブ等へ参加
 ミュージシャン向けセミナーや、学生が出演する取組も実施

Interactive

VR（仮想現実）体験会や、AI（人工知能）
 カンファレンスを中心に、多数のテック系・
 メディアアート系のセミナー・イベントを実施

総合

分野を横断するTradeShowやミートアップ、
 マーケティングや起業に関するイベント、アプリ
 連動企画、展示・広報企画などを展開

機会を活用した
 作品や取組の発表の場

クリエイター

クリエイティブな体験を
 楽しむ場

一般参加者

マーケティング・新技術の実践、
 企業間交流、情報収集と発信の場

ビジネス参加者

マーケティング対象として
 アプローチ

(3) No Maps 2016 開催結果

【総事業数】 **124** 事業

メイン会期 80事業、メイン会期外 37事業
公式サイドイベント 7事業

【会場数】 **49** 会場 ※同一施設内の別会場はまとめて1会場としてカウント

【来場者総数】 **27,274** 人 ※カウントに基づく実数をベースに積み上げ
※一部、イベントの性質上カウントが難しいものは
来場者数としてカウントしていない

メイン会期 21,404人 メイン会期外 5,330人
公式サイドイベント 540人

＜部門別来場者数＞

Film 11,640人 (うちメイン会期 8,050人)
Music 7,635人 (すべてメイン会期)
Interactive 5,262人 (うちメイン会期 3,985人)
総合 2,197人 (うちメイン会期 1,734人)

※公式サイドイベントは含まない

＜参考＞ 配信視聴者数 14,338人

IDOL DIVERCITY
南平岸インターネット、
Phantom Sketch Mod. 合計

2019年度目標 **50,000** 人

【実施事業一覧】

プログラム名	日 時	会 場	備考
No Maps / Film			
ドキュメンタリー上映会&是枝裕和監督トークイベント	7月16日(土)	インタークロス・クリエイティブ・センター クロスガーデン	連携事業
アーティストと制作環境 ～アピチャポン・ウィーラセタクンを迎えて～	7月20日(水)	インタークロス・クリエイティブ・センター クロスガーデン	連携事業
映画とコンサートのタバ at中央図書館	7月22日(金)	札幌中央図書館3階講堂	連携事業
夜の動物園「音楽とシネマの夜」札幌国際短編映画祭PR上映会	7月30日(土)	円山動物園 動物科学館	連携事業
キノマド × 札幌国際短編映画祭 (No Maps / Film)	8月16日(火)	時計台ホール	連携事業
コンテンツ活用促進セミナー ～十勝の観光素材が映画を通じて世界に知られるまで～	8月19日(金)	インタークロス・クリエイティブ・センター クロスガーデン	連携事業
札幌国際短編映画祭 野外上映会&ライブ	8月20日(土)	大通公園西6丁目会場	
「世界の短編映画が世の中の見方を変える」(ちえりあ講演会)	8月21日(日)	ちえりあ 札幌市生涯学習センター	連携事業
PR上映会 in 食べる・たいせつフェスティバル in 札幌	8月27日(土)	スポーツ交流施設つどーむ	連携事業
円山動物園 札幌国際短編映画祭PR上映会	9月3日(土)	円山動物園 動物科学館	連携事業
札幌国際短編映画祭 プレビュー上映会	9月9日(金)	インタークロス・クリエイティブ・センター クロスガーデン	
子ども審査会	9月10日(土)	内田洋行エビキタス協創広場U-cala	
テクノパークフェスタ2016:キッズアニメーション上映会	9月22日(木)	札幌市エレクトロニクスセンター	連携事業
特別先行上映会	9月30日(金)	札幌プラザ2・5	
10分で感動できる映画!?ショートフィルムの魅力	9月15日(木)	コープさっぽろ中央文化教室	連携事業
Iron Film Maker Contest (24時間 映画製作コンペ)	10月1日(土)、10月2日(日)	インタークロス・クリエイティブ・センター クロスガーデン	
札幌国際短編映画祭 国際コンペティション/特別プログラム	10月10日(月・祝)～16日(日)	札幌プラザ2・5 (2階・地下) /シアターキノ他	
特別上映プログラム: VRシアター、ブランドッド・フィルム2	10月10日(月・祝)～16日(日)	札幌プラザ2・5 @旧北洋銀行本店	
FILM X MUSIC 長編音楽作品特別招待上映	10月10日、12日、14日、15日	札幌プラザ2・5	
インターナショナル マーケット & ブース	10月10日(月・祝)～16日(日)	北洋銀行旧本店/EDIT	
CM映像制作ワークショップ	10月23日(日)、12月2日(金)	インタークロス・クリエイティブ・センター クロスガーデン	連携事業
とちちトリル映画祭	11月18日(金)、19日(土)	帯広市民文化ホール「小ホール」/HOTEL NUPKA	連携事業
こそだてフェスティバル しるっぴーキッズシアター	12月10日(土)	札幌コンベンションセンター	連携事業

I. No Maps 2016 開催概要

プログラム名	日時	会場	備考
No Maps / Music			
KING∞XMHU x No Maps presents Nicky Romero / Showtek	10月10日(月)、11日(火)	KING∞XMHU	
Berlin Calling スペシャルトークセッション	10月13日(木)	PROVO	
No Mapsスペシャルプログラム: POPS No Maps presents 『Friday Happening』	10月14日(金)	Zepp Sapporo	
No Maps presents Sapporo Neutral 2016	10月14日(金)	KLUB COUNTER ACTION/Sound Lab mole / SPIRITUAL LOUNGE BESSIE HALL / KRAPS HALL / COLONY	
FONS 4up x No Maps ~Find Out New Sensation~	10月14日(金)	DUCE SAPPORO	連携事業
AIR-G presents New Music Lab x No Maps	10月14日(金)	cube garden	連携事業
川村結花と葉草玲 ~ensemble「こいくち」~ x No Maps	10月14日(金)	PENNY LANE 24	連携事業
Tresor 25 Years	10月14日(金)	PRECIOUS HALL	
No Mapsスペシャルプログラム: アニソン No Maps presents 『ANI-HIGH!!』	10月15日(土)	Zepp Sapporo	
北海道高等学校文化連盟 第1回全道高等学校 軽音楽大会 ~No Maps, High School Music Grand Prix~ (軽音楽専門部設立記念大会)	10月15日(土)	わくわくホリデーホール	連携事業
Where U Heading	10月15日(土)	Sound Lab mole	連携事業
エレキネシス	10月15日(土)	DUCE SAPPORO	
夢チカLIVE VOL.114 x No Maps	10月15日(土)	KRAPS HALL	連携事業
make a dream vol.11 x No Maps	10月15日(土)	KRAPS HALL	連携事業
HAMMER BALL 2016 x No Maps	10月15日(土)	PENNY LANE 24	連携事業
OTO TO TABI DOPES x No Maps / OTO TO TABI SWAYS x No Maps	10月15日(土)、16日(日)	BESSIE HALL	連携事業
LOUD TRIBE 2016 x No Maps @KLUB COUNTER ACTION	10月15日(土)、16日(日)	KLUB COUNTER ACTION	連携事業
セミナー: ミュージシャンとお金の話	10月15日(土)	EDIT	
タワーレコード アウトストアライブ	10月15日(土)	Spiritual Lounge	連携事業
タワーレコード インストアライブ	10月15日(土)	タワーレコード札幌ビヴォ店	連携事業
No Mapsスペシャルプログラム: アイドル No Maps presents 『IDOL DIVERSITY』	10月16日(日)	Zepp Sapporo/DUCE SAPPORO/SUSUKIO 810	
アカペラパフォーマンスコンテスト	10月16日(日)	わくわくホリデーホール	連携事業
No Maps presents Sapporo a cappella Performance Competition The VOX	10月16日(日)		
FM NORTH WAVE & WESS presents IMPACT! XI x No Maps	10月16日(日)	KRAPS HALL	連携事業
Caffeine LIVE (Vol.37) x No Maps	10月16日(日)	Sound Lab mole	連携事業
Caffeine 15周年 & 大森俊治 芸道20周年合同企画! ~何かお祝いのものを~	10月16日(日)	Sound Lab mole	連携事業
SAPPORO MEN'S SINGER & DANCER CHOW CASE x No Maps	10月16日(日)	PENNY LANE 24	連携事業
IN YOUR POCKET x No Maps	10月16日(日)	SPIRITUAL LOUNGE	連携事業
セミナー: らえけん道場スペシャル	10月16日(日)	EDIT	
No Maps / Interactive			
水口哲也氏と語る.VR(仮想現実)の未来とクリエイティブ・ビジネス	7月1日(金)	インタークロス・クリエイティブ・センター クロスガーデン	連携事業
CGWORLD Entry Live 2016 in 札幌	8月1日(月)	札幌エルプラザ 3階 大ホール	連携事業
DEPOツクモ札幌駅前店 Presents VR開発者向けセミナー	9月2日(金)	札幌駅前ビジネススペース 2A	連携事業
No Maps NEDO Dream Pitch	10月12日(水)	KRAPS HALL	連携事業
Tresor 25 Years	10月14日(金)	PRECIOUS HALL	
復活 南平岸インターネット in No Maps 北海道マイコン研究会創設40周年	10月14日(金)	インタークロス・クリエイティブ・センター クロスガーデン	
HMCC Seminar&Meetup	10月14日(金)	Mirai.st cafe & kitchen	連携事業
没入祭 VR FESTIVAL SAPPORO	10月15日(土)、16日(日)	ノルベサ3Fフリースペース/チ・カ・ホ北2条交差点広場(東・西)	
親子でマヂを奏でるMOGEEESワークショップ	10月15日(土)	チ・カ・ホ北2条交差点広場(西)	
Unity道場 札幌スペシャル	10月15日(土)	北海学園大学豊平キャンパス	
Phantom Sketch Mod.	10月15日(土)	KING∞XMHU	
まちづくりオープンデータアプリコンテスト	アイデアソン/9月3日(土) 募集期間/9月4日(日) - 9月30日(金) プレゼン+審査+結果発表/10月15日(土)	わくわくホリデーホール 第1・第2会議室	
2045年: 人工知能の旅	10月16日(日)	わくわくホリデーホール	
JUCE開発現場ワークショップ	10月16日(日)	札幌市立大学サテライトキャンパス	
JimdoCafe スペシャル in 札幌 開催「仕事につなげる ウェブサイトの使い方」	10月16日(日)	わくわくホリデーホール第2会議室	連携事業
CSS Nite in SAPPORO, Vol.19「秋のスキルアップ特集」	10月16日(日)	わくわくホリデーホール第1会議室	連携事業
札幌市創業支援事業セミナー「AIビジネスクリエーション」	10月17日(月)	札幌証券取引所 2F 大会議室	連携事業
北海道フィンテックセミナー	11月9日(水)	札幌証券取引所 2F 大会議室	連携事業
Developers Festa Sapporo 2016	11月11日(金)	札幌コンベンションセンター	連携事業
ゲームで広がる可能性~就職・独立・起業~	11月18日(金)	北海学園大学 2号館 3階 31教室	連携事業
札幌テクノパーク30周年記念フォーラム	12月1日(木)	ニューオータニイン札幌 2階「鶴の間」	連携事業
FINTECH+ブロックチェーン	12月6日(火)	札幌証券取引所 2F 大会議室	連携事業
VR(仮想現実)AR(拡張現実)最新医療技術ビジネスセミナー	12月16日(金)	札幌証券取引所 2F大会議室	連携事業
No Maps 総合			
ITイノベーション人材育成セミナー・ワークショップ	セミナー: 7月18日(月・祝) ワークショップ: 7月19日(火)	TKP 札幌駅前カンファレンスセンター	連携事業
PRブース@RISING SUN ROCK FESTIVAL 2016 in EZO	8月12日(金)~13日(土)	石狩湾新港樽川ふ頭横野外特設ステージ 会場内	
「シーマン」の作者 斎藤由多加が明かす、楽しい人工知能(AI)の作り方とコツ	8月22日(月)	インタークロス・クリエイティブ・センター クロスガーデン	連携事業
札幌ITインターンシップマッチングフェア	9月10日(土)	北海道経済センター(札幌商工会議所8F) Aホール	連携事業
ソーシャルビジネスセミナー in 札幌	10月11日(火)	札幌学院大学 社会連携センター	連携事業
No Mapsハンチャーカンファレンス MEET UP!! in Sapporo Sponsored by 大日本印刷	10月13日(木)	さっぽろテレビ塔会議室	
No Mapsマーケティングテクノロジーセミナー@Web広告研究会	10月13日(木)	さっぽろテレビ塔会議室	連携事業
No Maps 2016 Reception Party	10月13日(木)	札幌プリンスホテル 国際館/パミール	
SAPPOROハンチャーグランプリ表彰式	10月13日(木)	インタークロス・クリエイティブ・センター クロスガーデン	連携事業
No Maps Trade Show	10月14日(金)~16日(日)	北洋銀行旧本店	
女性起業家交流会	10月19日(水)	インタークロス・クリエイティブ・センター クロスガーデン	連携事業
公式サイドイベント			
KOTONI NIGHT VOL.11	9月22日(木)	ターミナルプラザごとにPATOS	
VRジャーナリズムの衝撃	10月8日(土)	愛生館ビル6階 604号	
EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー2016 ジャパン 北海道大会	10月11日(火)	札幌グランドホテル	
拝郷メイコ スペシャルイヤーフェスタ第五弾ワンマンライブ「蜜月ツアー」札幌編	10月13日(木)	マジックスパイス	
ソーラーミュージックパーティー in ban.k	10月15日(土) / 11月19日(土)	ばんけいの森札幌ばんけいスキーセンターロッチ「カフェレキヒュッテ」	
西区キッズディスコ	10月16日(日)	札幌市生涯学習センター「ちえりあ」 5階映像スタジオ	
市電とDO	12月4日(日)	市電車内	
※網掛けはメイン期間内実施事業。			
※プログラム数は札幌国際短編映画祭内の個々のプログラムを1プログラムとカウントしており、上記のプログラムの合計数は全体の事業数とは一致しない。			

I. No Maps 2016 開催概要

【開催の様子】

Film



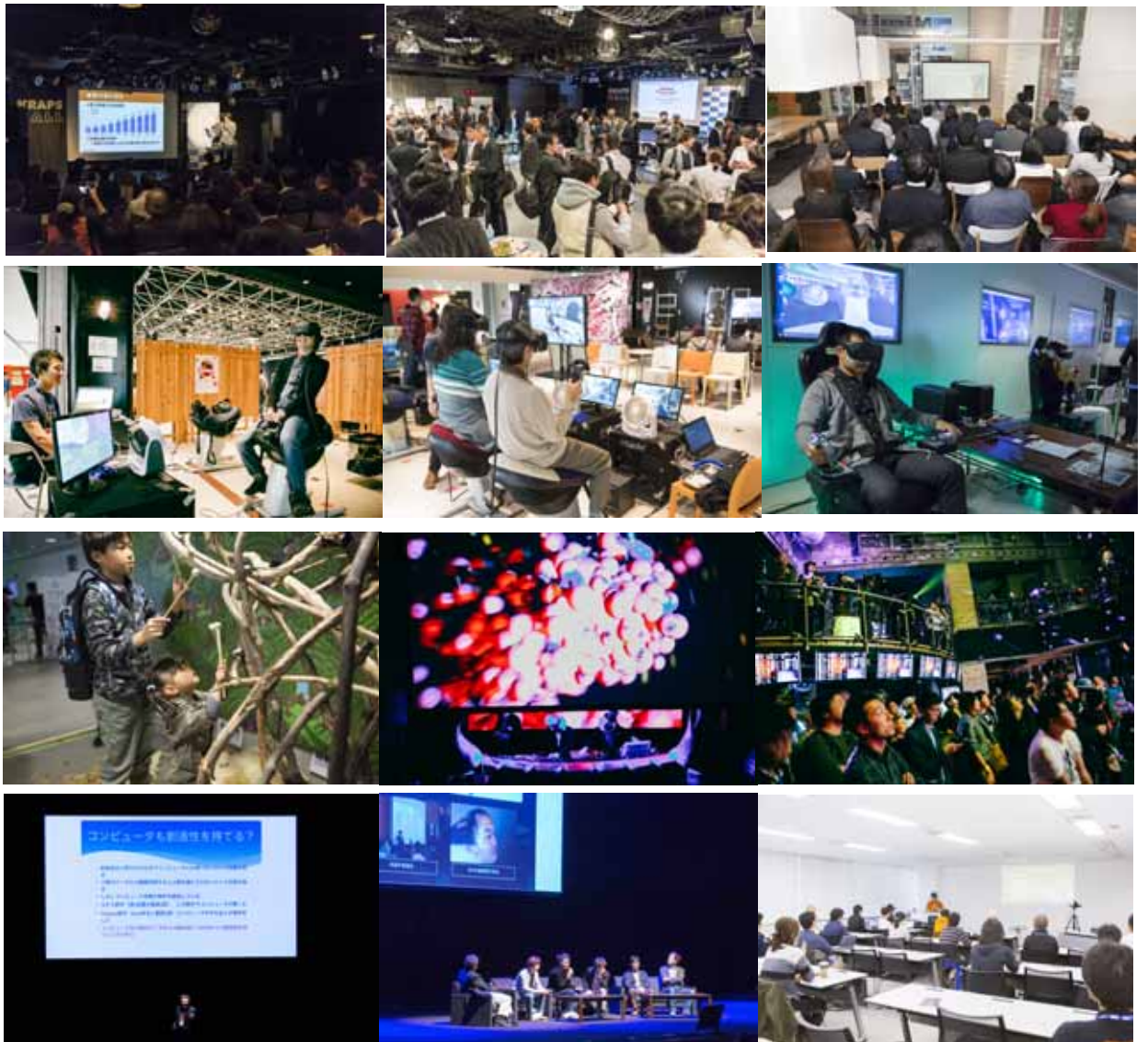
Music



Music



Interactive



総合



【主な事業実施事例】

マーケティングの
ツール/実践の場

- ・まちを舞台とした取組・実証実験
- ・イベントを活用した多彩なコンタクトポイント
- ・メディア・コンテンツの新たな活用提案
- ・コンテンツ集積による集客を活用したプロモーション

没入祭 VR FESTIVAL SAPPORO、「スマートコンベンション構想」の実証実験、MOGEES関連の取組、IDLE DIVERCITY、Where U Headingなど

企業間交流の場

- ・ミートアップ
- ・ベンチャー企業支援等

No Mapsベンチャーカンファレンス MEET UP!! in Sapporo Sponsored by 大日本印刷、HMCC Seminar&Meetup、No Maps レセプションパーティ、オフィシャルラウンジ、No Maps NEDO Dream Pitch、SAPPOROベンチャーグランプリ表彰式、No Mapsマーケティングテクノロジーセミナー@Web広告研究会、ゲッティイメージズ×No Mapsセミナー&パーティーiStock Night など

情報収集・発信の場

- ・セミナー、カンファレンス
- ・トレードショー

No Maps Trade Show、没入祭 VR FESTIVAL SAPPORO、2045年:人工知能の旅、Unity道場 札幌スペシャル、No Mapsマーケティングテクノロジーセミナー@Web広告研究会、セミナー：ミュージシャンとお金の話、Berlin Calling スペシャルトークセッション など

■ マーケティングツールの実践の場

まちを舞台とした取組・実証実験

<没入祭 VR FESTIVAL SAPPORO>

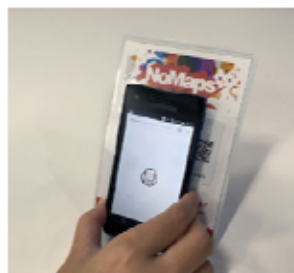


平日約5.5万人/日、休日約4.4万人/日が通行する公共空間（札幌駅前通地下歩行空間）にVR（仮想現実）のブースを設置、体験会と共に別会場（有料ブース有）への送客を行うなど、通行中の幅広いターゲットへダイレクトにリーチ

協力企業様：株式会社ハシラス様、Wizapply（株式会社しのびや.com）様、株式会社デジカ様、株式会社フンドブイ様、株式会社インフィニットループ様、株式会社ダブルエムエンタテインメント様、株式会社キヨル様、ゲームドウ有限会社様、株式会社REACTOR様、TSUKUMO（株式会社ProjectWhite）様
URL： https://no-maps.jp/event/2016_int_vrfes

<「スマートコンベンション構想」実証実験>

No Maps 実行委員会と株式会社東急エージェンシーが共同で企画・運営。市内中心部へ150カ所以上のBLE ビーコン、約700枚のNFCタグカードを設置（設置許可取得にあたっては行政機関の協力を得ながら実施）。アプリと連動して参加者へ適時・適切な情報発信を実現するとともに、将来的なビーコン・NFCタグの活用に向けたデータを取得。



<設置箇所>

- ・ No Mapsイベント会場
- ・ 札幌駅前通地下歩行空間
- ・ 地下鉄大通駅コンコース
- ・ 地下街オーロラタウン
- ・ ポールタウン
- ・ 札幌狸小路商店街
- ・ 地下鉄各駅 など

アプリをインストールすることで、NFCタグへのタッチやプッシュ通知により、適切な情報を受信し、行動選択につなげる社会的実験を実施。

協力企業・団体様：株式会社東急エージェンシー様、株式会社アクアビットスパイラルズ様、Tangerine 株式会社様、札幌市交通局様、株式会社札幌都市開発公社様、札幌駅前通まちづくり株式会社様、札幌市商店街振興組合連合会様、札幌狸小路商店街様
URL： <https://no-maps.jp/topics/1782>

■ マーケティングツールの実践の場

イベントを活用した多彩なコンタクトポイント例



「MOGEES」(協力: (株) エムアイセブンジャパン)
振動センサーと音楽アプリを組み合わせた
「あらゆるものを楽器に変える」デバイス



体験型ワークショップ/ベ
ロタクシー搭載/展示会へ
の出展 など多様な展開

メディア・コンテンツの新たな活用提案例

IDOL DIVERCITY

THETAによる全天球ライブ配信



Youtubeを通じ、360°全天球映像を3時間に渡ってライブ配信。従来のライブ配信とは異なる臨場感を感じさせる視聴体験を提供。

(協力: (株) リコー)

TextAlive による映像演出



先端技術により歌詞アニメーションを容易に制作・共有できるサービス“Textalive”を活用した演出。

(協力: 国立研究開発法人 産業技術総合研究所)



短編映画を活用した新たな顧客体験の提案

Where U Heading

台湾から招聘したアーティストを中心としたライブ“Where U Heading”にて、バンド間の転換時間を使い、音楽の世界観を盛り上げる短編映画作品を上映。“イベントの完成度を高める演出としての短編映画”という新たな提案を実施。

コンテンツ集積による集客を活用したプロモーション

- ・ イベントごとに属性が異なる参加者
(例: ジャンル別音楽イベント、親子向けアニメ映画プログラム、開発言語セミナー等)
- ・ 冊子媒体や配布物はもちろん、シネアド(映画上映前の映像広告)、地下歩行空間など公共空間への壁面広告などによる露出を実施
- ・ セミナーなど事業実施による直接的なアプローチも



■ 企業間交流の場

ビジネスの加速を目指し、ミートアップの機会を複数設置



**No Mapsベンチャーカンファレンス MEET UP!!
in Sapporo Sponsored by 大日本印刷**
渋谷でベンチャーエコシステムづくりに挑んでいる
ベンチャー関連企業を招いてのネットワーキング



HMCC Seminar & Meetup (連携事業)
モバイルコンテンツビジネスに関連する
企業を中心とした「学びと出会いの場」



No Maps レセプションパーティ
No Maps に関わられた方々をお招きし
産学官あらゆる分野の方々との交流の機会を提供



オフィシャルラウンジ
関係者及びVIP向けに、フリーに活用できる
ミートアップ用スペースを用意

ピッチコンテスト等でのベンチャー支援



No Maps NEDO Dream Pitch (連携事業)
日本最大の技術開発推進機関 NEDO と北海道経済産業局が開催。
研究開発型ベンチャーを中心としたピッチコンテスト。
全国大会を経て、シリコンバレーでのピッチ機会獲得の可能性も



SAPPOROベンチャーグランプリ表彰式 (連携事業)
札幌市内のベンチャー企業を広く公募し、選考・表彰する
ビジネスプランコンテスト。

セミナー形式での企業情報発信



**No Mapsマーケティングテクノロジーセミナー
@Web広告研究会 (連携事業)**
サッポロビール/資生堂ジャパン



**Getty Images × No Maps
セミナー&パーティー iStock Night (連携事業)**
Getty Images

■ 情報収集と発信の場

No Maps Trade Show

映画、音楽、インタラクティブの3分野を中心に、最新の技術、商品、サービスが集う展示会。出展者様によるプレゼンテーションの機会も。



【出展企業・団体】

株式会社リコー、株式会社キッズプレート、株式会社ヤマハミュージックジャパン、クリプトン・フューチャー・メディア株式会社、株式会社エムアイセブンジャパン、大日本印刷株式会社、富士通株式会社、国立研究開発法人 産業技術総合研究所、株式会社第一興商、一般財団法人音楽産業・文化振興財団（PROMIC）、No Maps Nedo Dream Pitch、078~Comin' Kobe Interactive、明星和楽、パナソニック株式会社、TVPaint Developpement SARL、Adastra Films、Inter×cross Creative Center、国立大学法人 長岡技術科学大学

その他、多様な場面で情報収集・発信の機会を提供

話題となっている最新技術の体験会から専門分野のセミナーまで、多数の情報収集・発信の機会を提供しました。



最新のVR（仮想現実）技術を体験できる“没入祭”



AI有識者によるカンファレンス
“2045年:人工知能の旅”



3DゲームエンジンUnityの
セミナー“Unity道場”



テクノロジーとマーケティングに
関するセミナー



ミュージシャンの活動に必要な
“お金の知識”を扱うセミナー



ベルリンに根付くクラブカルチャー
に迫るトークセッション

Ⅱ. No Maps 2016 各事業開催報告

Sapporo Creative Convention



Film/Music/Interactive

Film

第11回札幌国際短編映画祭

国際コンペティション／特別プログラム

日時 10月10日(月・祝)～16日(日)

場所 札幌プラザ2・5(2階・地下)/シアターキノ他



世界101の国と地域から応募された3,548作品の中から、コンペティションに選ばれた86本を含む258本39プログラムをメイン会場「札幌プラザ2・5」、特別上映会場「シアターキノ」、イベント・マーケット会場「EDiT」にて上映した。映画監督が自分自身の作品を複数本選んで応募できる、世界でも珍しいエントリー方式を採用している監督部門では6ヶ国6名の作品を上映した。また著名な国際審査員を国内外から5名迎え、グランプリをはじめ各賞を発表をした。

作品部門以外にも、北海道出身・在住の監督作品又は道内で制作した作品を集めた「北海道プログラム」、姉妹映画祭であるカリフォルニア・インディペンデント・フィルム・フェスティバルから「カリフォルニアショート」、2016年3月から始まった徳島国際短編映画祭プログラム、国際審査員のシェーン・RJ・ウォルター創設の「ワン・ドット・ゼロ」など様々なプログラムを上映した。若手人材育成の一歩として、今年も高校生以下の入場無料を実施した。

Film

FILM X MUSIC 長編音楽作品特別招待上映

「MILES AHEAD/マイルス・デイヴィス 空白の5年間」 10月10日(月・祝)・12日(水)
 「ベートーヴェンならどうする？」 10月14日(金)・15日(土)
 札幌プラザ2・5



Film × MusicをテーマにNo Maps Film Screeningとして映画祭の中で長編映画2本をジャパンプレミア上映した。ジャズを扱った「MILES AHEAD/マイルス・デイヴィス 空白の5年間」は12月から全国ロードショー公開された。また、ベンジャミン・ザンダー(ボストン・フィルハーモニック・オーケストラ)やエリック・ウィテカー(合唱・オーケストラ作曲家)などを紹介したクラシック音楽のドキュメンタリー映画「ベートーヴェンならどうする?」も上映した。いずれも、短編映画ファンに限らず、音楽、長編映画に関心のある新たな客層の取り込みにつながった。

特別上映プログラム: VRシアター、ブランデッド・フィルム 2

VRシアター: 旧北洋銀行本店 2016年10月14日(金)~16日(日) 10:00~17:00 (最終日14:00まで)
 ブランデッド・フィルム 2: 札幌プラザ2・5 2016年10月12日(水) 18:00~19:30



VRシアターでは、「TELEPOD」という半球型回転椅子に座り、VR映像を来場者が体験した。CGアニメーション3作品(有料)、とアイドルのライブ映像(無料)を合計4作品上映した。また、今回が2回目となるブランデッド・フィルム 2では、昨年に引き続き映像制作会社P.I.C.S.クリエイティブ・ディレクター・寺井氏、コマーシャル・フォト総括編集長・川本氏をキュレーターに迎え、広告の枠を超えたWEB CM映像10作品を解説と共に上映した。

Film

インターナショナルマーケット & ブース

10月11日(火)～16日(日) 10:00～19:00
EDiT



イベント・マーケット会場「EDiT」にて、3日間に渡り、今年の応募作品の中からコンペティション入選しなかったオフィシャル・セレクションのアウト・オブ・コンペティション、9プログラム（海外作品傑作作品集）を上映した。作品はすべて英語字幕のみで、ドキュメンタリー3プログラム、ドラマ3プログラム、エクスペリメンタル(実験的映像)、アニメーション、エンターテイメント各1プログラムを上映をした。

【メイン会期外の事業】

夜の動物園「音楽とシネマの夜」札幌国際短編映画祭PR上映会

7月30日(土) 18:00～18:45、19:00～19:45
札幌市円山動物園 動物科学館



札幌市円山動物園の人気イベント「夜の動物園」にて、子ども・家族用プログラムを2回上映した。小さな子どものために靴を脱ぎ座って観ることができるスペースを設けた。2回の上映会はそれぞれ定員オーバーになるほど盛況だった。

Film

コンテンツ活用促進セミナー ～十勝の観光素材が映画を通じて世界に知られるまで～

連携事業

8月19日（金）17:30～21:00
インタークロス・クリエイティブ・センター クロスガーデン

主催：一般財団法人さっぽろ産業振興財団 / 十勝短編映画プロジェクト
特別協力：No Maps実行委員会



「グローバルなまちづくり」と「コンテンツ活用」をキーワードに、映像作家の逢坂氏、ワイガヤ十勝代表の柏尾氏を講師に招き、まちづくりに映画が用いられた事例として、短編映画『my little guidebook』（夏編）の続編、冬の十勝を舞台にした中編映画『my little guidebook -ice-』（ice編）の上映と制作秘話を講演してもらった。

札幌市円山動物園 札幌国際短編映画祭PR上映会

9月3日（土）11:30～12:15、13:00～13:45
札幌市円山動物園 動物科学館



札幌市立円山動物園にて、映画祭のPR上映会を実施した。子ども・家族用プログラムを2回上映した。

Film

子ども審査会

9月10日（土）13:30～16:30

内田洋行ユビキタス協創広場U-cala



公募した13人の小学生に「ファミリー&チルドレン」プログラムの作品を見てもらい、全員でディスカッションしながら最優秀チルドレンショート賞、銀賞、銅賞を選出した。受賞作品は映画祭オープニング上映会にて発表した。

Iron Film Maker Contest / アイアン・フィルムメーカー・コンテスト (24時間 映画製作コンペ)

10月1日（土）～10月2日（日）

インタークロス・クリエイティブ・センター クロスガーデン



24時間で1分の映像を制作するというコンセプトの映像制作コンテストを開催した。企画運営は大学生が中心となって実施。オンライン参加を含めた11チームが制作に取り組み、当日発表されたテーマや映像の必須条件に沿って、TwitterやU-streamを活用しながら24時間という限られた時間の中で企画・撮影・編集を行った。最終的に10チームが完成し、後日審査会を開催して、札幌国際短編映画祭の授賞式の中で1位～3位までを発表、表彰を行った。

Film

ドキュメンタリー上映会&是枝裕和監督トークイベント

連携事業

7月16日(土) 13:00~16:30
インタークロス・クリエイティブ・センター クロスガーデン

主催：一般財団法人さっぽろ産業振興財団
特別協力：No Maps実行委員会
協力：札幌市経済局国際経済戦略室

ドキュメンタリー作品「あの時だったかもしれない〜テレビにとって(私)とは何か」(75分)の上映後、制作秘話を紹介し、ドキュメンタリーについて講演をいただいた。



アーティストと制作環境 ～アピチャッポン・ウィーラセタクンを迎えて～

連携事業

7月20日(水) 19:00~21:00
インタークロス・クリエイティブ・センター クロスガーデン

特定非営利活動法人S-AIR (エスエア)
共催：一般財団法人さっぽろ産業振興財団
特別協力：No Maps実行委員会

タイの映像作家アピチャッポン・ウィーラセタクン氏を招聘し、2009年から現在までの作品制作の過程を年代毎に解説してもらった。



映画とコンサートのタベ at中央図書館

連携事業

7月22日(金) 子ども向け上映時間 17:15~18:00、大人向け上映時間 18:15~19:25
札幌市中央図書館 3階講堂

主催：札幌市中央図書館
特別協力：No Maps実行委員会

札幌市中央図書館において第11回札幌国際短編映画祭のPR上映会を実施した。「カルチャーナイト2016」内のプログラムとして、2プログラム(子ども向け・大人向け)を上映した。



キノマド × 札幌国際短編映画祭 (No Maps / Film)

連携事業

8月16日(火) 19:00~20:00
時計台ホール

主催：札幌シネクラブ キノマド
特別協力：No Maps実行委員会

映画祭のプレビュー委員で国内作品キュレーターでもある、札幌の自主上映グループキノマド代表の田口氏が過去の日本国内上映作品から5作品を選び上映した。



Film

「世界の短編映画が世の中の見方を変える」(ちえりあ講演会)

連携事業

8月21日(日) 13:30~15:00
ちえりあ 札幌市生涯学習センター

主催：札幌市生涯学習センター
特別協力：No Maps実行委員会

第10回札幌国際短編映画祭の中から4作品を上映し、作品毎にマーケティングプランナー臼井栄三氏と映画祭プロデューサーの久保が短編映画の楽しみ方を解説した。



PR上映会 in 食べる・たいせつフェスティバル in 札幌

連携事業

8月27日(土) 13:20~14:00、15:10~15:40
スポーツ交流施設つどーむ

主催：コープさっぽろ
特別協力：No Maps実行委員会

コープさっぽろが主催している「食べる・たいせつフェスティバル」の体験プログラムの一つとして、家族向けの作品を上映した。



札幌国際短編映画祭 プレビュー上映会

9月9日(金) 19:00~20:30
インタークロス・クリエイティブ・センター クロスガーデン

インタークロスクリエイティブセンター1Fのクロスガーデンにて、プレビュー上映を実施した。

10分で感動できる映画!?ショートフィルムの魅力

連携事業

9月15日(木) 13:30~14:30、18:45~19:45
コープさっぽろ中央文化教室

主催：コープさっぽろ
特別協力：No Maps実行委員会

コープさっぽろ中央文化教室の講座として、映画祭プロデューサーである久保が講師となり、ショートフィルムの魅力を伝える特別講座を行った。受講者とディスカッションをしながら、No Mapsの魅力を紹介した。

テクノパークフェスタ2016：キッズアニメーション上映会

連携事業

9月22日(木) 11:30~16:00
札幌市エレクトロニクスセンター

主催：一般財団法人さっぽろ産業振興財団
特別協力：No Maps実行委員会

テクノパークフェスタ2016の会場内で、札幌国際短編映画祭「ファミリー&チルドレン」プログラムを上映した。



Film

特別先行上映会

9月30日(金) 19:00~21:00
札幌プラザ2・5

第11回札幌国際短編映画祭の開催を前に、特別先行上映会を実施した。スポンサー招待者を中心に、今回の映画祭で上映される注目作品を一足早く鑑賞した。

上映後はスポンサーによる抽選会も開催され、商品券や映画祭招待券などがプレゼントされた。



CM映像制作ワークショップ

連携事業

10月23日(日) 13:00~16:00
12月2日(金) 18:00~21:00
インタークロス・クリエイティブ・センター クロスガーデン

主催：一般財団法人さっぽろ産業振興財団
インタークロス・クリエイティブ・センター
共催：札幌国際芸術祭実行委員会
特別協力：No Maps実行委員会

次代の映像産業を担う人材の裾野を広げるとともに、創造人材の育成に寄与することを目的に、将来の札幌・北海道の映像産業を支える学生を対象としたCM映像制作ワークショップを実施した。アニメーションCM3件、実写CM2件の計5つの企画を採択し、札幌国際芸術祭2017ゲストディレクターである大友氏、プロの映像ディレクター等とともに、2017年3月のCM映像の完成をめざし現在制作中である。



とかちリトル映画祭

連携事業

11月18日(金) 17:00~23:00
19日(土) 10:30~19:30
帯広市民文化センター「小ホール」/HOTEL NUPKA

主催：北十勝広域連携観光推進協議会
MLGフィルムパートナーズ
特別協力：No Maps実行委員会

十勝で新たに創設された映画祭「とかちリトル映画祭」にて、札幌国際短編映画祭 PRの一環として2016年度受賞作品を含む3プログラムの上映(アワードプログラムA・アワードプログラムB・インターナショナルA)と、子ども向けの映画づくりワークショップを実施した。



こそだてフェスティバル しろっぴーキッズシアター

連携事業

12月10日(土) 11:00~12:00、13:30~14:30
札幌コンベンションセンター

主催：札幌コンベンションセンター
特別協力：No Maps実行委員会

「こそだて★さっぽろ2016~子育て未来フェスタ&SORAこそだてフェスティバル」のプログラムとして、白石区役所主催の「しろっぴーキッズシアター」で「ファミリー&チルドレン」プログラムを上映した。

午前、午後と2回上映し、それぞれ会場に入りきれないほどの盛況ぶりだった。



Sapporo Creative Convention

NoMaps

Film/Music/Interactive

Music

No Mapsスペシャルプログラム : POPS No Maps presents 『Friday Happening』

10月14日(金) 18:30~21:00
Zepp Sapporo



No Maps / Music の初日こけら落としを飾るべく、今まさに旬の人気アーティスト lol、C&K、DOBERMAN INFINITY の3組を迎えて、ダンスミュージックを中心とした、パーティー感あふれるイベントを開催。各出演者とも、DJやバックダンサーを交えて、オープニングライブにふさわしい派手なパフォーマンスを披露し、客席と一体になって盛り上がった。

Music

No Mapsスペシャルプログラム：アニソン

No Maps presents 『SAPPORO ANI-HIGH!!』 supported by Anison-R & ANI-ON !

10月15日（土）17:00～20:30

Zepp Sapporo



大型アニソンイベントを北海道でも開催するべく企画された『ANI-HIGH!!』。綾野ましろ、和島あみ等、北海道出身のアニソンシンガーから、山崎エリイ、田所あずさ、AIKATSU☆STARS!など声優シンガーや人気アニメ作品・ゲームのキャラクターの歌声を担当するグループなどバラエティに富んだ出演者が揃い、アニソン通も納得の盛況なイベントとなった。また、北海道を代表する2大アニソンラジオ番組がイベントをサポートし、当日の進行MCとして両番組のパーソナリティが出演した。

Music

No Maps スペシャルプログラム：アイドル No Maps presents 『IDOL DIVERSITY』

10月16日（日）11:30～18:30
Zepp Sapporo、DUCE SAPPORO、SUSUKIO 810



現在の音楽シーンにおいて、セールス・動員・話題性ともに一大ジャンルとして確立した「アイドル」。熱狂的なファン層に支えられ数多くのアイドルグループが活躍する中、ライブパフォーマンスと楽曲のクオリティが突出したトップクラスの12組（+オープニングアクト2組）をブッキングし、Zepp札幌とDUCEの2会場で北海道初・サーキット形式のアイドルフェスを開催した。SPゲストとして迎えたアイドル「アイドル「C-ute」は、王道のライブを披露。アイドル離れした破天荒なライブが話題の「BELLRING少女ハート」は1曲目から客席に飛び込むパフォーマンスで会場を盛り上げた。

また、彼女たちのライブでは、楽曲の歌詞をソフトウェアが自動的にビジュアル化してVJのように特殊効果を付けて映写する産総研のTextAlive技術を使った演出を取り入れた。さらにインタラクティブ領域との連携で、リコーの全天球ライブカム実験機（360度動画）を3台使って、高画質ライブ動画のリアルタイム配信をYouTubeで実施、4,000人近い視聴者を集めた。メイン会場に隣接するSUSUKINO 810では、北海道のアマチュアアイドル17組が出演する無料イベント「IDOL DIVERSITY：Freedom」を開催、300人以上を動員した。

Music

No Maps presents Sapporo Neutral 2016

10月14日（金）18:00/18:30～23:00/23:30

KLUB COUNTER ACTION、Sound Lab mole、SPIRITUAL LOUNGE、BESSIE HALL、KRAPS HALL、COLONY



メジャーシーンで活躍している北海道出身のアーティストや今後の活躍が期待されている北海道在住のアーティスト、さらに道外からもゲストアーティストを迎えてイベントを開催。札幌市内のライブハウス6会場を1枚のチケットで入場することが出来る「サーキット形式」のライブを実施した。

ライブを楽しむお客さんや、出演アーティスト達が自分たち以外のライブを観覧する姿を街中で見かけることで、外に対するアプローチが出来た。また、参加アーティストに「Way of life ~ Ustyle」を迎え、障害をもっている出演者が「ファッションと音楽のイベント」をテーマにしたコンテンツを披露し、メディアに取り上げられた。次世代の音楽シーンを支える若年層を取り込む施策として、高校生以下を無料とした。



Music

~No Maps, High School Music Grand Prix~ 北海道高等学校文化連盟 第1回全道高等学校 軽音楽大会(軽音楽専門部設立記念大会)

連携事業

10月15日(土) 14:50~20:30
わくわくホリデーホール



北海道高等学校文化連盟主催で第1回目となる軽音楽部の全道大会を、No Mapsのコンテンツとして実施した。高文連に所属する軽音楽部80校のうち27校、89バンドが参加し、石狩支部、後志支部、釧根支部、十勝支部、室蘭・苫小牧支部大会を通過した、カバー部門12組、オリジナル部門8組の合計20組のバンドが全道大会に出演した。北海道の未来を担う高校生たちの発表の場面として第1回大会を開催できたことは、非常に有意義であった。NHK札幌放送局が50分程度のテレビ番組と、出演バンド全組の楽曲をOAしたラジオ番組を制作・放送された他、様々なメディアが大会を取り上げていた。次年度以降は「北海道高等学校軽音楽連盟」が主催する大会へ変更となる。

No Maps presents Sapporo a cappella Performance Competition The VOX アカペラパフォーマンスコンテスト

連携事業

10月16日(日) 17:30~20:30
わくわくホリデーホール



北海道内の9大学のアカペラサークル・団体、約300名が参加した、アカペラのパフォーマンスを競う北海道最大級のコンテストを実施。少数の団体が参加するアカペライベントが多い中、全国的に類を見ない1グループ、20~70名が参加してパフォーマンスを披露する大会となり、観ている人を飽きさせないライブとなっていた。ゲストには、全国的に知名度の高いアカペラグループ「JARNZΩ」が参加し大会を盛り上げていた。

Music

Where U Heading

10月15日（土）19:00～20:00

Sound Lab mole



「No Maps」というイベントを統合的に構成する、音楽・映画・インタラクティブのエッセンスを1つのイベントにミックスさせた象徴的ライブ。イベントの軸となるライブには、インターナショナル枠として台湾からエレクトリックハープを奏でるPaige Su（ページ・スー）を招聘。日本からは、すでに欧米でもツアーを行うなど国際的な評価も高い幻想的なロックバンド、ROTH BART BARONのほか、札幌からsleepy.ab、chikyunokikiが出演。芸術性の高い彼らのパフォーマンスに合わせて、音楽に同期したグラフィックをソフトウェアが自動生成してステージバックに投影する演出を取り入れた。また、アーティストが交代する転換時には、ステージ前のスクリーンに「戦争のつくりかた」などNo Maps / Filmで上映されたメッセージ性の高いショートフィルムを上映。音楽と映像をブレンドして、空間を総合的に演出する実験的なライブイベントとなった。

KING∞XMHU × No Maps presents Nicky Romero / Showtek

連携事業

10月10日（月・祝）Nicky Romero、10月11日（火）Showtek 両日とも24:00～25:00

KING∞XMHU



KING∞XMHUとNo Maps実行委員会が共同で開催を行ったイベント。ダンスミュージックシーンで最も権威のある「DJ Mag TOP 100 DJs」において50位以内に入るTOP DJのNicky Romero、Showtekを迎えて開催。両日600名以上動員し、世界レベルのパフォーマンスを披露した。札幌のクラブシーンにおいて海外の第一線で活躍しているDJが出演する機会は少なく注目を集める内容だった為、クラブ界隈のリスナーがNo Mapsを知る機会となった。

Music

セミナー：ミュージシャンとお金の話

10月15日（土）15:30～17:30
EDiT



株式会社マネーフォワードの後援の元、（一財）さっぽろ産業振興財団（インタークロス・クリエイティブ・センター）と共同で開催したセミナー。講師には、メジャーバンド「LITE」のメンバーとしてプロの第一線で活躍するかたわら、行政書士としての肩書きも持つ武田さんや、税理士の宮原さん、クラウドファンディングを運営している「アクトナウ」の杉山さんを講師に迎え、「お金の話」をテーマに講義を実施。助成金や税金の話、クラウドファンディングを使ったお金を集める方法など、普段聞くことの出来ない話がテーマだったので、クリエイティブな部分に目が向き、自分たちのマネジメントについては後回しになっているミュージシャンが多い中、興味深くセミナーに参加しているクリエイターの姿が目立った。

セミナー：うえけん道場スペシャル

10月16日（日）13:00～14:30、15:00～16:30
EDiT



STVラジオの番組「田村次郎のTAMU RADIO」の中で、音楽プロデューサー上田健司さんをゲストに迎えて月に1回放送されているコーナー「うえけん道場」のスペシャルとしてセミナーを開催。ラジオ番組ではリスナーからの投稿を元に上田さんが楽曲のアドバイスをする構成になっていて、セミナーではONE OK ROCKなど数々のアーティストのプロデュースを行なっている「akkin」さんを講師に迎えて二人のプロデューサーからのアドバイスを実際に音源を聞きながら受けるという内容だった。インディペンデントで活動しているミュージシャンが自分の楽曲をプロの音楽プロデューサーから受ける機会は限られているので、貴重な体験となっていた。

Music

エレキネシス 8

2016年10月15日（土）20:00～23:00
DUCE SAPPORO



札幌のクリエイターが「デジタルでしか」できない表現、デジタルだからこそできる表現を一同に集め、様々な形のパフォーマンスが見られるイベントをコンセプトに行なっているコンテンツを、「Music」と「Interactive」の連動事業として開催した。ステージ前面にV字に組んだスクリーンにVJが映像をマッピングする演出を行い、ステージにはLEDで囲まれたDJブースを設置した。音楽のライブを観るという感覚ではなく、映像と音楽を体感する場面になっていた。

Berlin Calling スペシャルトークセッション

10月13日（木）19:00～20:30
PROVO
協力：サウンド&レコーディング・マガジン



フリーランス音楽ライター/翻訳家・浅沼優子氏が雑誌「サウンド&レコーディング・マガジン」で連載しているコラム「Berlin Calling」の特別企画として、担当編集者・白石裕一朗氏とのトークセッションを実施した。ベルリンに根付くクラブカルチャーにスポットを当て、音楽シーンの特色や現地に暮らすアーティスト達の活動について、現地に住むライターならではの視点で語った。また浅沼氏自身のベルリン移住についての体験談も交え、クリエイターや音楽ファン以外からの関心も強く引いたトーク内容であった。来場者からはベルリンへの興味がより深まったという感想が多く挙がっていた。

Music

FONS 4up × No Maps ~Find Out New Sensation~

連携事業

2016年10月14日（金）19:00～21:30
DUCE SAPPORO

タイトルの「FONS」はFind Out New Sensation=知らなかったことを新たに発見する、という意味の「Find Out」と、新感覚という意味の「New Sensation」を組み合わせた造語で、毎回違うコンセプトでイベントを開催しており、4回目の開催となる今回は「HIP HOP」や「JAZZ」などを取り入れた内容だった。



夢チカLIVE VOL.114 × No Maps

連携事業

2016年10月15日（土）17:30～22:00
KRAPS HALL

北海道テレビ（HTB）の音楽情報番組『夢チカ18』との連動イベントで、メジャー・インディーズ問わず、様々なジャンルのアーティストの登竜門となっている。今回もメジャーアーティスト4組に札幌在住のアーティスト「Cell The Rough Butch」を加えた5組のオムニバスライブを実施。後日番組でもライブの様子が放送された。



make a dream vol.11 × No Maps

連携事業

2016年10月15日（土）12:30～14:30
KRAPS HALL

北海道テレビ（HTB）が主催で開催を行なっているイベント。今回は、普段バンドとして活動を行なっているアーティスト3組のボーカルが弾き語りで行う貴重な公演だった。後日、同局の番組で放送された。



OTO TO TABI DOPES × No Maps OTO TO TABI SWAYS × No Maps

連携事業

2016年10月15日（土）～16日（日）
15日 16:30～20:40 / 16日 14:00～18:30
BESSIE HALL

2011年から年に1度、毎冬に開催されている「OTO TO TABI」のスピノフイベント。音楽好きが集まり、自分たちが心を動かされたアーティストを招いて開催している。

「DOPES」では、注目を集めているHIP HOPアーティスト「DOTAMA」を中心に札幌を拠点に活動している「lolololop」を加えて開催。「SWAYS」は、若手ラップシンガーとして注目を集めている「DAOKO」が出演し話題を集めた。



Music

LOUD TRIBE 2016 × No Maps

連携事業

10月15日(土)～16日(日)
18:30～20:30
KLUB COUNTER ACTION

北海道のラウドロックシーンの一翼をになっているイベント。今回は2日に日程を分けて、8組のアーティストが出演した。HMVでのブース展開やCDショップでの店頭販売を行うなど積極的なプロモーションを展開。前日にはLOUD TRIBEの前夜祭を「CAFFEINE」で行うなど、多角的にイベントを開催していた。



HAMMER BALL 2016 × No Maps

連携事業

10月15日(土) 17:00～
PENNY LANE24

札幌が誇る正統派ヘヴィメタルバンド、SABER TIGERが企画主催する定番イベント。間もなく30周年を迎える異色のハードロックバンド人間椅子や、世界で人気を博す伝説のメタルバンドLOUDNESSのVo. 二井原実が率いるバンドを迎え、ファン層の熱が特に高い北海道のハードロック・ヘヴィメタルのオーディエンスをうならせた。



FM NORTH WAVE & WESS presents IMPACT! XI × No Maps

連携事業

10月16日(日) 17:30～20:30
KRAPS HALL

FM NORTH WAVEと株式会社ウエスが共同で開催を行い、ロック中心のラインナップで、ブレイク直前の注目ミュージシャンが数多く出演している。今回もグッバイフジヤマ、BRADIO、NECOKICKS、ALL OFFなど注目を集めている若手アーティストが出演。後日ライブ音源をFM NORTH WAVEで放送していた。



Caffeine LIVE (Vol.37) × No Maps

連携事業

10月16日(日) 17:00～21:00
Sound Lab mole

札幌のセレクトショップ「CAFFEINE」が定期的で開催しているライブイベント。今回で37回目の開催となった。北海道を中心に活動を行っている「月光グリーン」「ロミオマシン」や、札幌出身の「TRIPLANE」に、数々のアニメソングの作詞作曲を行なっている「大石昌良」をゲストに迎え、周年にふさわしい満員のライブとなった。



Music

川村結花と柴草玲 ～ensemble「こいくち」～ × No Maps

連携事業

10月14日(金) 19:30~21:30
PENNY LANE 24

数多くの有名アーティストにヒットソングを作品提供を行っているシンガーソングライター、川村結花と柴草玲の2人が、それぞれのソロ、デュオ、連弾などでピアノの弾き語りライブを披露した。一度は耳にしたことがあるヒット曲満載のステージに、客席からは1曲ごとに拍手が鳴り響いた。



SAPPORO MEN'S SINGER & DANCER SHOW CASE (E!) × No Maps

連携事業

10月16日(日) 16:30~20:30
PENNY LANE 24

北海道を中心に活動するメンズシンガー・ダンスボーカルグループが集結したライブイベント。「イケメン」をキーワードに選ばれた出演者だが、全アーティストとも実力派揃いで、それぞれの歌唱力の高さにライブは終始白熱したものとなった。また、ゲストにかつて人気ボーカルグループDA PUMPをプロデュースしていたm.c.A・Tが登場。ライブの盛り上がりは当然ながら、終演後の出演者交流会で行われた「男性ダンスボーカルグループの成功の秘訣」などの話は、若手グループの刺激になったようだった。



IN YOUR POCKET × No Maps

連携事業

10月16日(日) 13:00~21:30
SPIRITUAL LOUNGE

ライブハウス SPIRITUAL LOUNGEが不定期で開催している「IN YOUR POCKET」をNo Mapsと共同開催。ジャンルにとらわれない札幌在住のアーティスト12組が出演し、昼夜を通して会場を盛り上げた。プロのシーンで活躍するアーティストが中心となったNo Maps / Musicのライブで、アマチュアのミュージシャンが出演する数少ない機会となった。



AIR-G' presents New Music Lab × No Maps

連携事業

10月16日(日) 17:00~21:00
Sound Lab mole

新しい音楽、新しいアーティストを発掘・提案するライブイベントで、AIR-G' (FM北海道) の番組ディレクターが、「ラップ」をテーマに、出演者を選定し、第一線で活躍するラッパーと地元UNDER22 (22才以下) の若手ラッパーたちによるMCバトルで会場を盛り上げた。



Music

タワーレコード アウトストアライブ

連携事業

10月15日(土)

Spiritual Lounge

主催：タワーレコード札幌ピヴォ店

特別協力：No Maps実行委員会

タワーレコード札幌ピヴォ店とのコラボレーション企画として、「No Music, No Maps. supported by TOWER RECORDS SAPPORO PIVOT」と銘打ち、No Maps / Musicに出演するアーティストのプロモーションを兼ねたライブイベントを開催した。アウトストアライブでは、Spiritual Loungeを会場に3アーティストがパフォーマンスを行った。



タワーレコード インストアライブ

連携事業

10月15日(土)

タワーレコード札幌ピヴォ店

主催：タワーレコード札幌ピヴォ店

特別協力：No Maps実行委員会

タワーレコード札幌ピヴォ店とのコラボレーション企画として、「No Music, No Maps. supported by TOWER RECORDS SAPPORO PIVOT」と銘打ち、No Maps / Musicに出演するアーティストのプロモーションを兼ねたライブイベントを開催した。インストアライブでは、タワーレコード札幌ピヴォ店特設ステージで4アーティストがパフォーマンスを行った。



Sapporo Creative Convention



Film/Music/Interactive

Interactive

没入祭 VR FESTIVAL SAPPORO

10月15日（土）～16日（日） 11:00～18:00

ノルベサ3Fフリースペース、チ・カ・ホ 北2条交差点広場（東・西）

共催：株式会社インフィニットループ 協力：株式会社エクシヴィ / 株式会社ハシラス / DEPOツクモ札幌駅前店



「没入祭 VR FESTIVAL SAPPORO」は、バーチャルリアリティ（VR）と呼ばれるテクノロジーを多くの市民に楽しんでもらう事を目的とした体験型イベントとして2日間に渡り実施した。

初開催となった2016年は、様々なメーカーから「ヘッドマウントディスプレイ」と呼ばれるゴーグル型のデバイスが発売されはじめ、巷では「VR元年」と呼ばれていた。没入祭では、そのヘッドマウントディスプレイを豊富に用意し、アミューズメントや観光など様々なVRコンテンツを展示。ノルベサとチカホの2会場で総勢2000名以上の市民に「はじめてのVR体験」を提供することができた。





参加者アンケートでは90%の人が「VR体験に満足した」と回答し、98%の人が「来年も没入祭に参加したい」との回答が得られた。

没入祭はメディアの反応が特に良く、INTERACTIVE部門内では特に引きが強かった。道内メディアだけではなく、Yahoo!ニュースをはじめ、ガジェット通信やアスキー、AV WATCHなどのウェブメディアに多数掲載された。VR業界では双壁をなすウェブメディアPANORAとMogura VRにも掲載され、SNS上でも多くの反響があった。

Interactive

2045年：人工知能の旅

10月16日（日） 11:00～14:00
わくわくホリデーホール 大ホール



人工知能の先端を行く研究者やベンチャー企業の代表を招き、その今と未来を知るカンファレンスを実施した。

第1部、一つ目の基調講演は「人工知能はどこまで来てどこに向かうか」と題し、前人工知能学会会長/はこだて未来大学教授の松原仁氏が登壇。人工知能は現在どこまでできるようになったか、まだ何ができないか、これからどこへ向かっていくかについて述べられた。

二つ目の基調講演では、「人工知能がより汎用的になると何が起こるのか」と題し、ドワンゴ人工知能研究所/NPO法人全脳アーキテクチャ・イニシアティブの山川宏氏が登壇。人工知能が人間の知的な能力を包括的に越える可能性とその社会への影響について述べられた。

休憩を挟んだ第2部では、基調講演の2名の講師にABEJAの岡田陽介氏、オルツの米倉千貴氏、そしてNo Maps実行委員長でもあるクリプトン・フューチャー・メディアの伊藤博之を交え、「人工知能をビジネスに結びつけるには」というテーマでパネルディスカッションが行われた。

来場者からは人工知能について幅広い知識を得るのにとっても有意義だったという声が聞かれ、今後の札幌・北海道で人工知能分野の事業の進展に、希望が持てる内容であった。

まちづくりオープンデータアプリコンテスト

事前勉強会&アイデアソン&マッチング：9月3日(土) 9:00-18:00 クリプトン・フューチャー・メディア株式会社会議室
 募集期間：9月6日(火) - 10月10日(月)
 プレゼン+審査+結果発表：10月15日(土) 14:00-17:00 わくわくホリデーホール第1会議室
 共催：株式会社インフィニットループ
 協力：アマゾンウェブサービスジャパン株式会社 / 株式会社ヴァル研究所 / 一般社団法人 北海道オープンデータ推進協議会



「さっぽろまちづくりオープンデータアプリコンテスト」は、さっぽろのまちの課題解決や利便性・サービスの向上といった「まちづくり」をテーマとし、行政と民間のオープンデータを用い、アプリの開発を通じて、札幌から新産業創出へ繋がることを目的に実施した。

応募には保育園に子どもを預ける空きがあるところを探すサービスや、人口密度や性別・年齢別人口別に地域を検索することができるサービスなどがあつた中、札幌で新生活をする人向けの情報アプリがグランプリを受賞した。

Unity道場 札幌スペシャル

10月15日(土) 10:00~18:00
 北海学園大学 豊平キャンパス 5号館60番講堂
 協力：ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン合同会社 / 池上学院グローバルアカデミー専門学校 / Kawaz / 近未来ガジェット研究所 / 札幌情報未来専門学校 / 総合学園ヒューマンアカデミー札幌校 / デジタルハリウッドスタジオ札幌 / 日本工学院北海道専門学校 / 北海道情報専門学校 / 吉田学園情報ビジネス専門学校



プロからアマチュアまで広く使われるゲームエンジン「Unity」を集中的に学べる特別セミナーを実施した。

ユニティ・テクノロジーズ・ジャパンの協力のもと、専門的なUnityの使い方はもちろん、ドワンゴの岩城進之介氏による「先端ライブ・イベント現場でのUnity事例」では、紅白歌合戦でのコメント演出や「超歌舞伎」で舞う初音ミクについてのレクチャーがあり、クリプトン・フューチャー・メディアの熊谷友介氏、信田英樹氏からは初音ミクVRの開発秘話などが語られた。本セミナーへの参加は学生の方の姿も多く、その関心の高さが伺われた。

Interactive

JUICE開発環境ワークショップ

10月16日(日) 11:00~13:00

札幌市立大学サテライトキャンパス

協力：ROLI Ltd. / 株式会社エムアイセブンジャパン / 札幌市立大学デザイン学部 須之内研究室



クリプトン・フューチャー・メディア株式会社のボーカル・エディター・ソフト「Piapro Studio」の開発でも使用している、マルチプラットフォームのC++用GUIライブラリ「JUICE」の開発環境ワークショップを開催した。

実際に開発現場で「JUICE」を使用しているプログラマ達からのレクチャーを中心に、その魅力と特徴を初心者にも分かりやすく解説した。MIDIコントローラー『Seaboard RISE』を用いた活用事例も紹介し、クリプトン・フューチャー・メディア株式会社のリアルタイム3DCGコントロールシステム「R3」の実演も行った。「JUICE」を題材にしたワークショップは国内でも珍しく、参加者からは今後の導入への検討要素として貴重な場であったとの反応を得た。

親子でマチを奏でるMOGEESワークショップ

10月14日(金)~15日(土) 14:00-17:00

チ・カ・ホ 北2条交差点広場(西)

協力：株式会社エムアイセブンジャパン / TOBIU CAMP実行委員会 / 飛生アートコミュニティー



「親子で森を奏でるMOGEESワークショップ」は、イギリス製デジタルデバイス「Mogees」を日本国内で輸入販売代理をしている「エムアイセブンジャパン」の協力の下に行われた体験型イベントである。

本イベントは、北海道白老町の飛生地区で行われている「TOBIU CAMP」とのコラボワークショップとして実施し、飛生の森を地下歩行空間に再現。Mogeesを取り付けた木々をマレットや素手などで叩き、iPhoneアプリを通じてスピーカーから音を出す造作を行った。このインパクトのある展示により、短い展示時間にも関わらず200名近い市民が参加し、小さな子どもからお年寄り、海外旅行者まで幅広い方々にInteractiveを提供することができた。

No Maps NEDO Dream Pitch

連携事業

10月12日（水） 13:30～19:00

KRAPPS HALL

主催：経済産業省北海道経済産業局 / 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

特別協力：No Maps実行委員会 運営：株式会社日本総合研究所 / 株式会社パソナテック



日本最大の技術開発推進機関NEDOと経済産業省北海道経済産業局が共同でピッチコンテストを開催。北海道の企業や学生等が、ビジネスプラン発表やポスターセッションを通じてビジネスチャンスの創出を目指した。

当日は計14チームがピッチに参加し、先端テクノロジーと創造力をかけ合わせた独自のビジネスプランを発表した。優勝者には東京でのピッチコンテスト「NEDO Technology Commercialization Program最終審査会」への出場権が贈られた。参加者は全国規模のピッチコンテストが札幌で開催されたことに気概を示しており、このような機会がベンチャー創出に繋がるとの手応えを得た。

Phantom Sketch Mod.

10月15日（土） 17:00～22:00

KING∞XMHU



ゲストディレクターにDOMMUNE主宰・宇川直宏氏を迎え、前衛的メディア表現を集結させたパーティをすすきの・KING∞XMHUにて開催。世界的ノイズミュージシャンMERZBOW、近年アナログシンセサイザーセットでのライブで国内外から注目を集めているPhewを筆頭に、いずれも札幌でのパフォーマンスは極めて貴重なアーティスト達が多数出演。気鋭のオーディオビジュアル表現集団・BRDGがVJを担当。メディア・アーツ都市札幌ならではのパーティコンセプトとゲストラインナップとなった。またすべての模様はライブストリーミングチャンネル・DOMMUNEにより全世界へ生中継され、9200を越える視聴者数を記録した。

Interactive

Tresor 25 Years

10月14日(金) 23:00~(翌)05:00
PRECIOUS HALL

テクノムーブメントにおける中心地の一つであるクラブTresorの25周年を祝うパーティ「Tresor 25 Years」を、移転オープン直後のPRECIOUS HALLにて開催した。

ゲストとして、SubstanceとSleeparchiveによるプロジェクト"TR-101"、ダブテクノ・アクト"Vainqueur"の2組をベルリンから招聘。札幌からはKuniyuki Takahashiら3名が出演。ベルリン拠点のプロデューサーJay Ahernをゲストに招いたトラックメイク・セミナーも実施した。海外から複数のゲストを一同に招いたパーティは札幌において貴重であり、ベルリン直系のテクノサウンドで会場は大いに盛り上がりを見せた。



復活 南平岸インターネット in No Maps 北海道マイコン研究会創設40周年

10月14日(金) 18:00~21:00
インタークロス・クリエイティブ・センター クロスガーデン
協力：Sapporo Tech Lab.設立準備委員会
特別協力：一般財団法人 さっぽろ産業振興財団

1995年から北海道テレビ放送で放映されたマルチメディアとインターネットをテーマとしたバラエティ番組の復活と称し、当時の出演者を中心としたトークイベントを開催した。

2016年は札幌のIT産業の礎を成した「北海道マイコン研究会」創設から40年という節目の年でもあることから、当時のメンバーや「サッポロバレー」の立役者もゲストで登場し、当時は振り返ると共に、今に通じるノウハウなどが語られた。



JimdoCafe スペシャル in 札幌 開催「仕事につながるウェブサイトの使い方」

連携事業

10月16日(日) 13:00~16:00
わくわくホリデーホール第2会議室
主催：JimdoJapan / JimdoCafe 札幌 / JimdoCafe 江別
特別協力：No Maps実行委員会

「Jimdo」を使ったホームページ作成が学べる「JimdoCafe」のスペシャル版としてJimdoJapan・JimdoCafe 札幌・JimdoCafe 江別の合同セミナーを実施した。Jimdoの活用事例はもちろん、疑問に思ったことを聞くことができる相談の時間も設けられた。



CSS Nite in SAPPORO, Vol.19 「秋のスキルアップ特集」

連携事業

10月16日(日) 13:30-17:15
わくわくホリデーホール第1会議室
主催：CSS Nite in SAPPORO実行委員会
特別協力：No Maps実行委員会

2005年からCSS Niteを主催しているスイッチの鷹野雅弘氏を招き、Photoshopでの編集に不可欠な「非破壊」という考え方・直しに強いデータ作り(Illustrator)・読みやすさ、伝わりやすさのためのテキストの扱いアレコレ・デザイナーの中で流行のフォント LIVE!!といった4つのセッションが行われた。



HMCC Seminar & Meetup

連携事業

10月14日（金）23:00～(翌)05:00

Mirai.st cafe & kitchen

主催：北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議会

特別協力：No Maps実行委員会

モバイルコンテンツ関連企業間のネットワーク形成を通じ、新たなモバイルコンテンツビジネスの創出を支援している団体「北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議会（HMCC）」が行っている会員限定のセミナー&交流会を、この日だけ一般の参加も可能な形で開催した。



【メイン会期外の事業】

水口哲也氏と語る、VR(仮想現実)の未来とクリエイティブ・ビジネス

連携事業

2016年7月1日（金）16:00～18:00

インタークロス・クリエイティブ・センター クロスガーデン

主催：一般財団法人さっぽろ産業振興財団

（インタークロス・クリエイティブ・センター）

特別協力：No Maps実行委員会

クリエイター/ゲームデザイナー/プロデューサーとして世界的にも第一線で活躍する水口哲也氏を迎え、VRや音楽・映像を融合する共感覚的なメディア体験の世界など、最先端のクリエイティブビジネスに関するフォーラムを開催した。2016年10月にPlayStationVR®で発売され話題となったVRゲーム作品「Rez infinite」の開発秘話や、本作品を制作するに至った経緯などが語られた。



CGWORLD Entry Live 2016 in 札幌

連携事業

2016年8月1日（月）11:30～17:00

札幌エルプラザ 3階 大ホール

主催：CGWORLD Entry Live 2016 in 札幌 実行委員会

共催：専門学校札幌マンガ・アニメ学院、北海道芸術デザイン専門学校、北海道情報専門学校、吉田学園情報ビジネス専門学校

後援：北海道教育委員会、札幌市教育委員会、北海道高等学校長協会、CG-ARTS協会、北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議会（HMCC）、北海道IT推進協会、北海道私立専修学校各種学校連合会、経済産業省北海道経済産業局、札幌市

北海道のデジタルエンタテインメント産業の人材育成を目的とし、その業界のことを深く知ることができるイベントが開催された。

北海道を代表するゲーム企業3社による「ゲームのオシゴト」や、ゲーム・コンピュータグラフィックス・アニメ・映像業界から日本を代表する企業の方々が登場した「道産子カモン！3DCGでエンタメを変えた勇者たち」といったセッションもあり、現場の生の声を聞くことができる機会が提供された。



Interactive

DEPOツクモ札幌駅前店 Presents VR開発者向けセミナー

連携事業

9月2日(金) 13:00~18:00

札幌駅前ビジネススペース 2A

主催: DEPOツクモ札幌駅前店 協賛: Lenovoジャパン

協力: ユニティ・テクノロジー・ジャパン合同会社 /

株式会社デジカ / 日本AMD株式会社 / NVIDIA /

株式会社アスク

特別協力: No Maps実行委員会

ゲーム制作開発者やVR開発者向けのセミナーとして、DEPOツクモ札幌駅前店主催で実施した。日本AMDの西川美優氏からは同社の最新の技術動向とコンテンツ開発サポートについて、ユニティ・テクノロジー・ジャパンの安原 祐二氏からはUnityでVR開発をしていく上での注意点や最適化に関してなど、様々な企業担当者からVR制作の現場で役に立つ内容が語られた。



札幌市創業支援事業セミナー「AIビジネスクリエーション」

連携事業

10月17日(月) 18:30~21:00

札幌証券取引所 2F 大会議室

主催: NPO法人札幌ビズカフェ

協力: 札幌市 / 北海道大学大学院情報科学研究科(調和系工学研究室) /

株式会社調和技研

特別協力: No Maps実行委員会

札幌ビズカフェが主催する定期開催の勉強会。人工知能に関する創業や新規事業開拓・自社の生産性向上などに興味のある人なら誰でも参加できる、開かれたセミナーとして実施した。



北海道フィンテックセミナー

連携事業

11月9日(水) 15:00~17:00

札幌証券取引所 2F 大会議室

主催: 北海道経済産業局 / 札幌市 / 札幌市IoTイノベーション推進コンソーシアム /

一般財団法人さっぽろ産業振興財団

特別協力: 札幌証券取引所

協力: 一般社団法人北海道IT推進協会 / 北海道ITベンチャー・ビジネスマン協議会 /

NPO法人札幌ビズカフェ / No Maps実行委員会

昨年設立されたFintech協会による基調講演を始め、フィンテックベンチャーの事例紹介や、経済産業省が開催している産業・金融・IT融合に関する検討会合における議論等の報告などが行われた。本会を通じ、IT分野の最新の潮流を読み解き、地域における、地域ならではのフィンテックビジネスについて、その課題と可能性が語られた。



Developers Festa Sapporo 2016

連携事業

11月11日(日) 10:00~17:30

札幌コンベンションセンター

主催: 一般財団法人さっぽろ産業振興財団

企画運営: Developers Festa Sapporo 2016 実行委員

後援: 経済産業省北海道経済産業局 / 北海道 / 札幌市

協力: 株式会社アグリクス / 株式会社アットウェア / 株式会社アフォーダンス /

イメージ株式会社 / 株式会社エスプランニング / 株式会社グイックス /

株式会社アリッジ / 株式会社リアルグロ

国内外のIT業界において第一線で活躍する講師陣を迎え幅広いジャンルの最新情報を提供し、北海道のIT業界が活力を得るための契機となる目的で実施された。最先端の技術に触れたい地場のエンジニアが参加し、技術力の向上と、今後のビジネスに役立つヒントや情報を得るきっかけとなった。



Interactive

第4次産業革命時代の人材育成セミナー

連携事業

11月16日（水）16:30～18:10

ホテルオークラ札幌

主催：北海道IT推進協会

協力：北海道経済産業局 / 札幌市 / NPO法人札幌ビズカフェ

特別協力：No Maps実行委員会

最新のIoT事例や最新のクラウド事情など、IoTイノベーションに必要なエッセンスを学び、ビジネスに生かす機会の提供として開催された。IoT NEWSの小泉耕二さんによる「IoTに必要な思考法」、日本マイクロソフトの坂井俊介さんによる「デジタルトランスフォーメーションを推進する Microsoft のクラウド戦略と活用事例」といったセッションが行われた。



ゲームで広がる可能性～就職・独立・起業～

連携事業

11月18日（金）15:00～17:00

北海学園大学 2号館 3階 31教室

主催：在札幌米国総領事館

特別協力：No Maps実行委員会 協力：NPO法人札幌ビズカフェ

世界屈指のコンピューターゲームデザインプログラムを有する南カリフォルニア大学と連携し、様々な角度からゲーム開発に携わっているパネリストを招聘し、アメリカの大学ではどのような教育があり、どのように起業へと結びつくのか・パネリスト達はどのようにビジネスチャンスを開発したのか、などをテーマに、各パネラーの経験を振り返りながら、日米ゲーム市場の将来の展望についての考察などが行われた。



札幌テクノパーク30周年記念フォーラム

連携事業

12月1日（木）13:30～17:30

ニューオータニイン札幌 2階「鶴の間」

主催：札幌テクノパーク30周年記念フォーラム実行委員会

（一般財団法人さっぽろ産業振興財団 / NPO法人札幌市IT振興普及推進協議会 / 札幌テクノパーク協議会 / 札幌市IoTイノベーション推進コンソーシアム）

後援：札幌市 特別協力：No Maps実行委員会

札幌市が全国に先駆けて、高度情報化社会を担うエレクトロニクス関連産業の育成のため整備した産業団地「札幌テクノパーク」の30周年を記念して「札幌のIT産業の未来」をテーマとしたフォーラムを行った。村井純慶応義塾大学教授による「Internet of Things」と題した基調講演や、前田泰宏経済産業省大臣官房審議官による施策紹介、パネルディスカッションなどが行われた。



FINTECH×ブロックチェーン

連携事業

12月9日（水）18:00～20:00

札幌証券取引所 2F 大会議室

主催：NPO法人札幌ビズカフェ

特別協力：No Maps実行委員会

Fintechベンチャーのマネーフォワード社と、Blockchainの開発企業である札幌のバーナード社を招き、フィンテックとブロックチェーンに関する勉強会を開催。

「マネーフォワードが創る金融市場」、「ブロックチェーンがもたらす金融業界の変革」について解説が行われた。



Interactive

VR（仮想現実）AR（拡張現実）最新医療技術ビジネスセミナー

連携事業

12月16日（金）18:30～21:00

札幌証券取引所 2F大会議室

主催：NPO法人札幌ビズカフェ

共催：有限会社ニュートン・グラフィックス / 株式会社HoloEyes /
株式会社インフィニットループ

特別協力：No Maps実行委員会

VR（仮想現実）やAR（拡張現実）の最前線と最新医療テクノロジーを、デモンストレーションを交えてご紹介するセミナーを開催。HTC VIVEやVR“ミクロの決死圏”アプリ「HoloEyesVR」の体験会も同時に開催した。



Sapporo Creative Convention



Film/Music/Interactive

総合

No Maps Trade Show

10月14日(金)～16日(日) 10:00～17:00(最終日は～14:00)
北洋銀行旧本店



デジタルテクノロジー、デジタルコンテンツを中心として、国内外から時代の先端を走る技術・サービスを行う企業・学校・団体から18ブースが出展。

新しい技術、新しいサービス、新しいアイディアで道なき道を切り開く人々が交わる、No Maps のコンセプトを体現する展示会となった。

【出展企業・団体】

株式会社リコー、株式会社キッズプレート、株式会社ヤマハミュージックジャパン、クリプトン・フューチャー・メディア株式会社、株式会社エムアイセブンジャパン、大日本印刷株式会社、富士通株式会社、国立研究開発法人 産業技術総合研究所、株式会社第一興商、一般財団法人音楽産業・文化振興財団 (PROMIC)、No Maps Nedo Dream Pitch、078~Comin' Kobe Interactive、明星和楽、パナソニック株式会社、TVPaint Development SARL、Adastra Films、Inter×cross Creative Center、国立大学法人 長岡技術科学大学



総合

No Mapsベンチャーカンファレンス MEET UP!! in Sapporo Sponsored by 大日本印刷

10月13日（木） 15:00～17:30
 さっぽろテレビ塔会議室
 協賛：大日本印刷株式会社

総合



「北海道にベンチャーエコシステムをつくろう」を合言葉に、東京の渋谷でベンチャーエコシステムづくりにチャレンジしているベンチャー企業、ベンチャーキャピタルやアクセラレーター企業を東京から招待し、参加者とともに考え、そして交流するカンファレンスを開催した。

- 【出演】
- ・IMJ Investment Partners パートナー 岡 洋 氏 (モデレーター)
 - ・株式会社アクアビッツバイラルズ 代表取締役CEO 萩原 智啓 氏
 - ・ストリートアカデミー株式会社 代表取締役社長 藤本 崇 氏
 - ・株式会社div 代表取締役 真子 就有 氏
 - ・株式会社ファームノート 代表取締役 小林 晋也 氏
 - ・イベントレジスト株式会社 取締役 最高業務執行責任者/COO 小笹 文 氏
 - ・KLab Ventures Partners株式会社 パートナー 御林 洋志 氏
 - ・株式会社TECHFUND 代表取締役CEO 兼 CTO 松山 雄太 氏
 - ・東京急行電鉄株式会社 「東急アクセラレートプログラム」 運営統括 加藤 由将 氏
 - ・大日本印刷株式会社 情報イノベーション事業部 矢野 孝 氏
 - ・No Maps実行委員長 クリプトン・フューチャー・メディア株式会社 代表取締役 伊藤 博之

Ⅱ. No Maps 2016 各事業開催報告

総合

No Mapsマーケティングテクノロジーセミナー@Web広告研究会

連携事業

10月13日(木) 11:00~13:00

さっぽろテレビ塔会議室

主催：公益社団法人 日本アドバイザーズ協会 Web広告研究会 特別協力：No Maps実行委員会



日々進化を続けているデジタルテクノロジー、そこから生み出される多くのサービスがユーザーの心を捉え、消費者の時間の使い方が非常に多様化している現代において、これまでテレビを中心に消費者とコミュニケーションを図っていた企業も、消費者の動きに合わせ、テクノロジーを活用し、ユーザーとのエンゲージメントを高めようと試行している。企業がどのような考えでテクノロジーを採用しているのか、その効果はどれだけブランドに貢献しているのか、日本を代表する企業であるサッポロビール株式会社、資生堂ジャパン株式会社から事例を交えて講演をいただいた。

No Maps 2016 Reception Party

10月13日(木) 19:00~21:00

札幌プリンスホテル 国際館パミール



No Mapsに関わる多くの方々を一堂に会して、No Maps 2016 Reception Partyを開催した。このパーティには、関係者も含め、企業、クリエイターを問わず、400人もの方が参加し交流を深めた。また、全ての部門の事業が開催する前夜祭として位置付け、後半3日間の見どころなどを各部門担当者から発信した。

総合

ソーシャルビジネスセミナー in 札幌

連携事業

10月11日(火) 18:00~20:00
 札幌学院大学社会連携センター
 主催：札幌市、日本政策金融公庫、札幌学院大学
 共催：北海道ソーシャルビジネス支援ネットワーク
 (構成機関：NPO法人北海道NPOサポートセンター / NPO法人北海道NPOバンク /
 公益財団法人北海道中小企業総合支援センター / 日本政策金融公庫道内9支店)
 後援：北海道、札幌商工会議所、北海道信用保証協会
 特別協力：No Maps実行委員会

地域貢献につながる事業を営む方やソーシャルビジネス分野での起業を検討中の方を対象としたセミナーを開催した。当日はソーシャルビジネス分野で活躍中の起業家3名によるソーシャルビジネスへの取組の紹介や起業・経営に関する講演をはじめ、コーディネーターを交えたトークセッションを実施。また各支援機関による施策の紹介なども行われた。



SAPPOROベンチャーグランプリ2016表彰式

連携事業

10月13日(木) 13:30~16:00
 インタークロス・クリエイティブ・センター クロスガーデン
 主催：札幌市
 事務局：一般財団法人さっぽろ産業振興財団
 特別協力：No Maps実行委員会

SAPPOROベンチャーグランプリは札幌市内の起業志望者やベンチャー企業等を広く公募し、その成長を後押しするための選考・表彰制度であり、本年度は大賞1者、準大賞1者、優秀賞3者を選出した。表彰式当日は、観光分野の起業家による講演に続いて、秋元克広札幌市長による各賞の授与、また受賞者による事業紹介のプレゼンテーションが行われた。



【メイン会期外の事業】

ITイノベーション人材育成セミナー・ワークショップ

連携事業

セミナー：7月18日(月・祝)
 ワークショップ：7月19日(火)
 TKP 札幌駅カンファレンスセンター
 主催：札幌市
 事務局：一般財団法人さっぽろ産業振興財団
 特別協力：No Maps実行委員会

IT技術を活用して新たな事業の創出を行うことができる人材の育成を目指し、イノベーションを起こすために必要なデザイン思考を学ぶためのセミナーや、それらの促進を促す上で必要な組織の成熟度や具体的な手法などを体験できるワークショップを2日間に渡って開催。市内IT企業が参加し、インプットからアウトプットまで、一連の流れを経験する機会となった。



Ⅱ. No Maps 2016 各事業開催報告

総合

PRブース@RISING SUN ROCK FESTIVAL 2016 in EZO

8月12日(金)～13日(土)
石狩湾新港樽川ふ頭横野外特設ステージ 会場内

RISING SUN ROCK FESTIVAL 2016 in EZOの会場内にNo Maps 特設ブースを開設。

ブース内では、No Maps / Film でこれまでに上映されたショートフィルムのセレクション上映や、No Maps/パナーをバックにセルフイー&SNSフォローにご協力頂いた方にステッカープレゼントなどを実施した。



「シーマン」の作者 斎藤由多加が明かす、楽しい人工知能(AI)の作り方とコツ

連携事業

8月22日(月) 16:00～18:00
インタークロス・クリエイティブ・センター クロスガーデン
主催：一般財団法人さっぽろ産業振興財団
特別協力：No Maps実行委員会

「シーマン」の作者、斎藤由多加氏を迎え、「楽しい人工知能(AI)の作り方とコツ」をテーマに、人工知能やソフトウェアによる疑似人格の作り方や企画の方法、発想法など、これまでの実体験とともに語られた。セミナー終了後には、クリエイターや企業等参加者と講師による意見交換会も開催した。



札幌ITインターンシップマッチングフェア

連携事業

9月10日(土) 13:00～17:00
北海道経済センター Aホール
主催：札幌市
事務局：株式会社パソナテック
特別協力：No Maps実行委員会

北海道内の大学生・専門学校生を対象に、札幌を拠点にするIT企業とのマッチングを行い、インターンシップの機会へつなげるイベントを開催した。当日は8社が参加し説明会を行うとともに、学生との座談会や、学生からのプレゼンテーションも行われるなど、企業と学生の交流やマッチングを促す機会を提供した。



女性起業家交流会

連携事業

10月19日(水) 10:00～12:15
インタークロス・クリエイティブ・センター クロスガーデン
主催：札幌市、札幌市産業振興センター
(指定管理者 / 一般財団法人さっぽろ産業振興財団)
特別協力：No Maps実行委員会

札幌市内の起業に興味がある女性、起業を目指す女性、起業間もない女性を対象としたセミナー及び交流会を開催した。セミナーでは様々な分野で活躍している女性経営者3名を招き、起業のきっかけや苦労話などの実体験についてお話し頂いた。また無料の託児スペースも用意し、子育て中の方でも安心して参加できるよう配慮したり、起業家が気軽に相談できる相談窓口を設けるなど、多くの方が参加しやすい取組とした。



公式サイドイベント

KOTONI NIGHT VOL.11

9月22日(木) 15:00~18:00
 ターミナルプラザことにPATOS
 主催：札幌市西区役所地域振興課

プロによる本格的なDJプレイや、ダンサーによるパフォーマンスを気軽に楽しめる機会を提供した。



VRジャーナリズムの衝撃

10月8日(土) 14:30~15:30
 愛生館ビル6階 604号
 主催：さっぽろ自由学校「遊」

シリアのアレッポ、チェルノブイリ、火星の全地球実写動画を体験してもらった。参加者は、その場所にいるという生々しい体験に感動していた様子だった。



EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー2016 ジャパン 北海道大会

2016年10月11日(火) 15:30~18:30
 札幌グランドホテル
 主催：EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー北海道地区実行委員会

EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー・ジャパンは、日本のアントレプレナーを国際的なステージに輩出する起業家表彰制度。2016年の北海道地区大会では、2名の起業家を表彰した。



拝郷メイコ スペシャルイヤーフェスタ第五弾 ワンマンライブ「蜜月ツアー」札幌編

10月13日(木)
 マジックスパイス
 主催：nanno records

VOCALOID「MEIKO」のキャラクターボイスを担当する拝郷メイコの15周年記念ワンマンライブを開催した。



ソーラーミュージックパーティ in ban.K Vol.4/Vol.5

10月15日(土) / 11月19日(土)
 ばんけいの森 札幌ばんけいスキー場
 センターロッジ「カフェベルクヒュッテ」
 主催：NPO法人ベターデイズプロジェクト

ソーラー発電によってPA機器やギターアンプに給電して行うライブイベントを実施した。



西区キッズディスコ

10月16日(日) 10:00~12:00、13:00~15:00
 札幌市生涯学習センター「ちえりあ」 5階映像スタジオ
 主催：札幌市西区役所地域振興課

DJの奏でる軽快なリズムの音楽に乗って、親子でダンスや、ヨガ体験、ゲームなど楽しんだ。



市電とDO

12月4日(日) 13:30~14:30、15:00~16:00
 札幌市電(路面電車)内
 主催：札幌市交通局

SCOOBIE DOをゲストに迎え、市電を一周約60分かけて走行しながら、車内で音楽ライブを楽しめるライブイベントを実施した。



効果測定 <アンケート調査実施結果>

「No Maps 2016」にて開催した各種イベントの来場者を対象としたアンケート調査を実施し、回答者のプロフィール、イベントへの参加目的と評価、各分野への興味やイベント参加の有無、「No Maps 2016」への評価・意見などについて把握した。

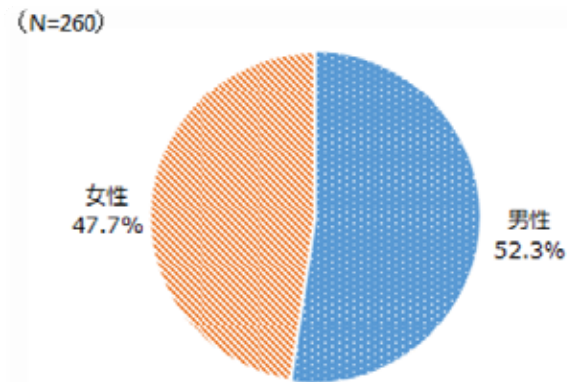
来場者アンケートの実施に当たっては、Web上に回答用ページを作成し、「No Maps 2016」の各会場において、回答用ページのアドレスに誘導するQRコードを記載したWebアンケート誘導チラシを来場者に配布することで来場者からの回答を集めた。

なお、来場者アンケートの誘導チラシは全体で5,000部を配布し、最終的に260件の回答を得た。

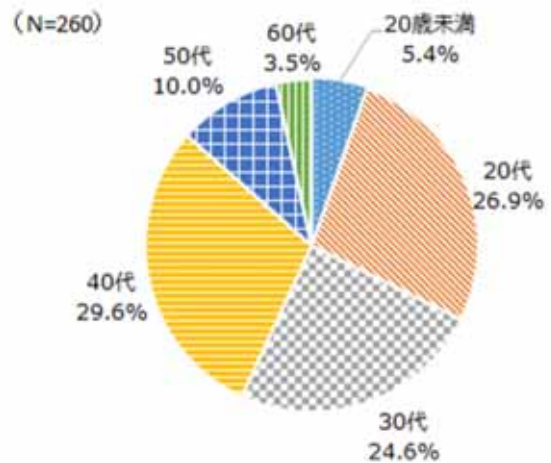
○回答者属性

男女比は大きな差はなく、世代をみると、20代、30代、40代で全体の8割を超えている。

■性別

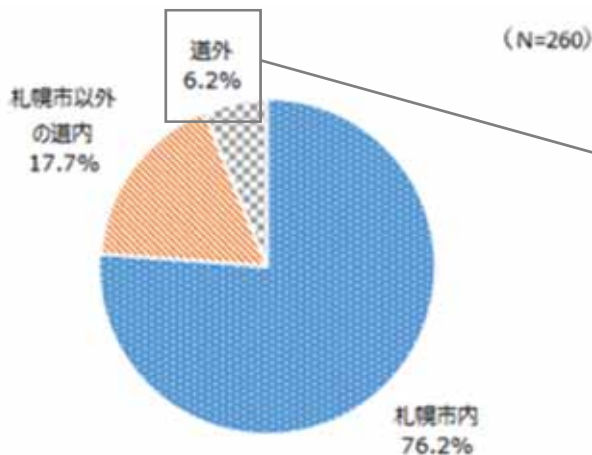


■年齢

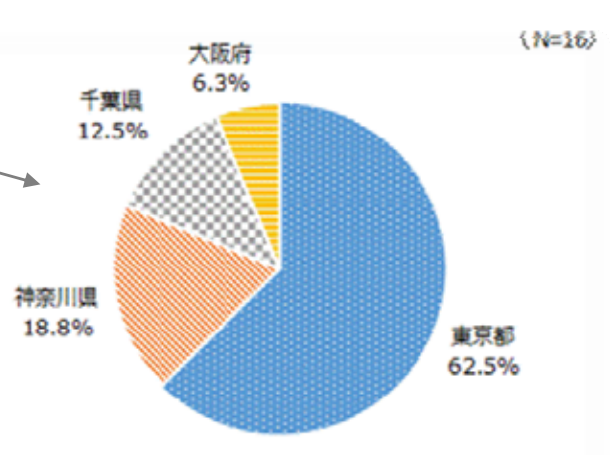


来場者の3/4が札幌市内居住。道外からの参加者は6%程度で、その多くが関東圏からの参加となっている。

■居住地



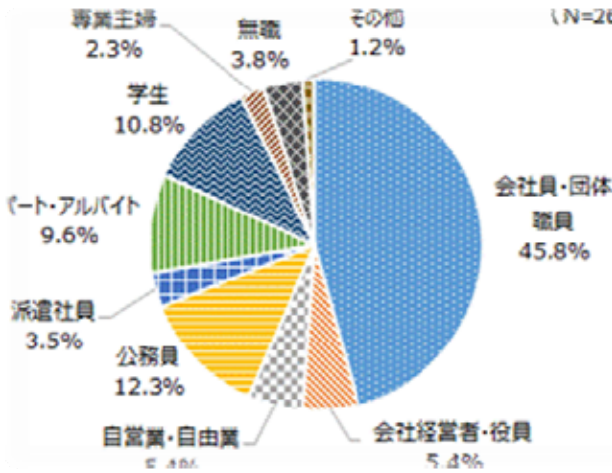
■道外居住地



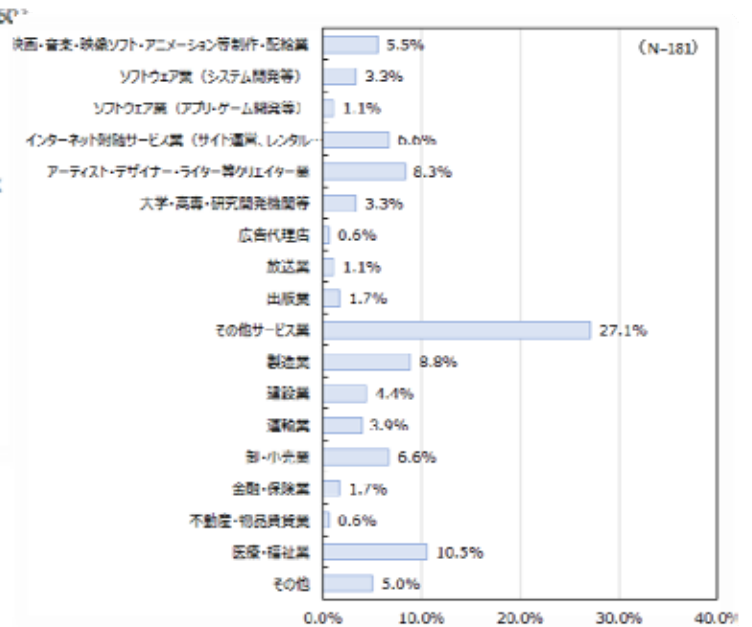
アンケート調査実施結果

「会社員・団体職員」が45.8%と最も多く、全体の半数近くを占めている。次いで「公務員」が12.3%、「学生」が10.8%と続いている。勤労者の業種では、一般的にサービス業に分類される業種を挙げる回答が多くみられた。

■ 職業



■ 勤労者の職種

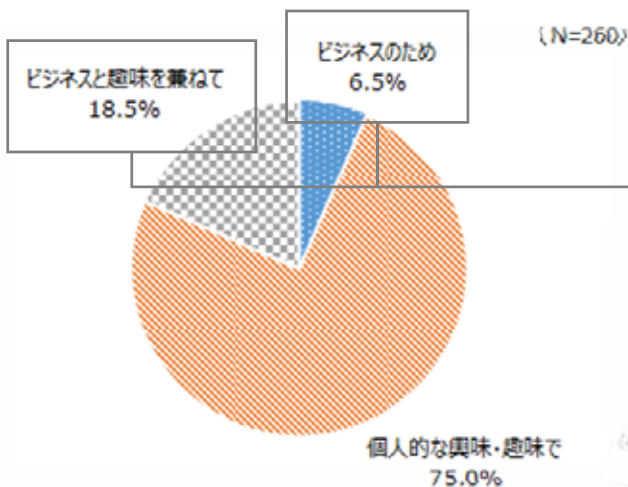


「No Maps 2016」への参加目的及び成果

回答者の参加目的をみると、「個人的な興味・趣味で」が75.0%と最も多く、全体の4分の3を占めている。次いで「ビジネスと趣味を兼ねて」が18.5%、「ビジネスのため」が6.5%となっている。

ビジネスを参加目的としている回答者に対して、その具体的な内容を尋ねたところ、「イベント参加を通じて何らかの刺激を受けたかった」が60.0%と最も多く、次いで「興味のある商材／技術があった」が46.2%、「新たな人脈をつくりたかった」が32.3%と続いた。

■ 参加目的



■ 具体的な理由



アンケート調査実施結果

■ ビジネス目的の参加者の成果

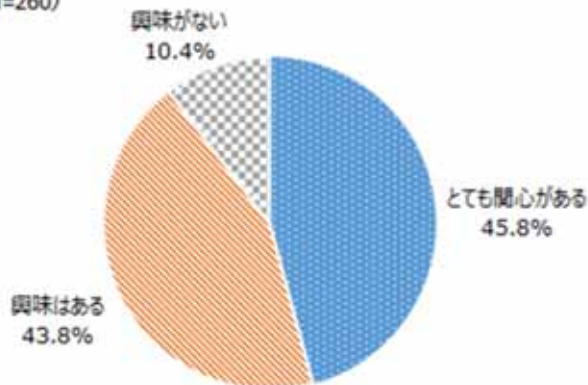


ビジネス目的の参加者がイベント参加を通じて得られた成果についてみると、「現段階では何ともいえない」が43.1%と最も多く、次いで「ビジネス上のヒントを得ることができた」が41.5%、「新たな人脈づくりにつながった」が24.6%と続いている。

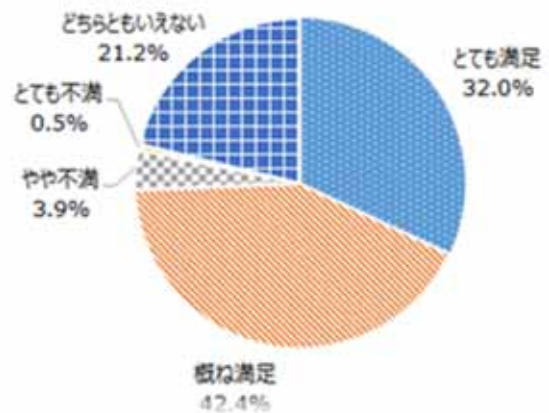
各分野への興味や満足度

Film部門への関心をみると、「とても関心がある」が45.8%と最も多く、次いで「興味はある」が43.8%となっており、回答者全体の約9割が関心を示している。またプログラムに参加した人の満足度をみると、「概ね満足」が42.4%と最も多く、次いで「とても満足」が32.0%となっており、全体の4分の3が満足していると回答している。

■ Film部門への関心 (N=260)

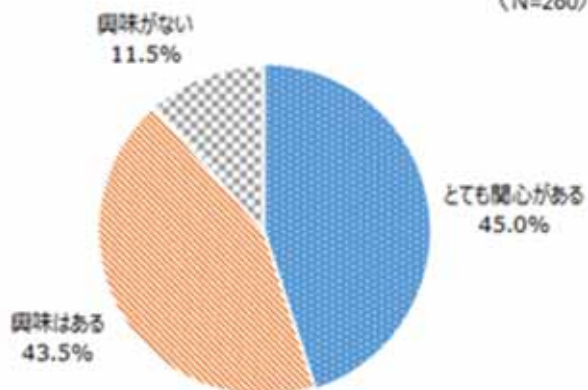


■ Film部門の事業の満足度 (N=203)

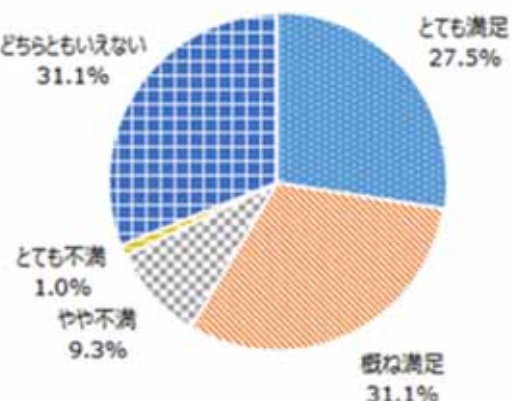


Music部門への関心をみると、「とても関心がある」が45.0%と最も多く、次いで「興味はある」が43.5%となっており、回答者全体の9割近くが関心を示している。またプログラムに参加した人の満足度をみると、「概ね満足」が31.1%と最も多く、次いで「とても満足」が27.5%となっており、6割近くが満足していると回答している。

■ Music部門への関心 (N=260)



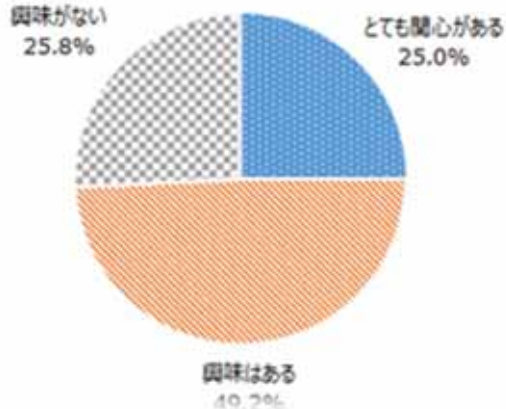
■ Music部門の事業の満足度 (N=193)



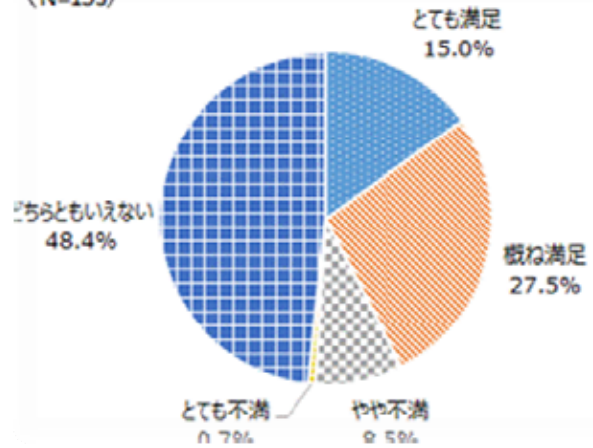
アンケート調査実施結果

Interactive部門への関心をみると、「興味はある」が49.2%と最も多く、次いで「とても関心がある」が25.0%となっており、回答者全体の4分の3が関心を示している。プログラムに参加した人の満足度をみると、「どちらともいえない」が48.4%と回答者全体の半数近くを占めており、「とても満足」、「概ね満足」とする回答の合計を上回っている。

■ Interactive部門への関心
(N=260)



■ Interactive部門の事業の満足度
(N=153)

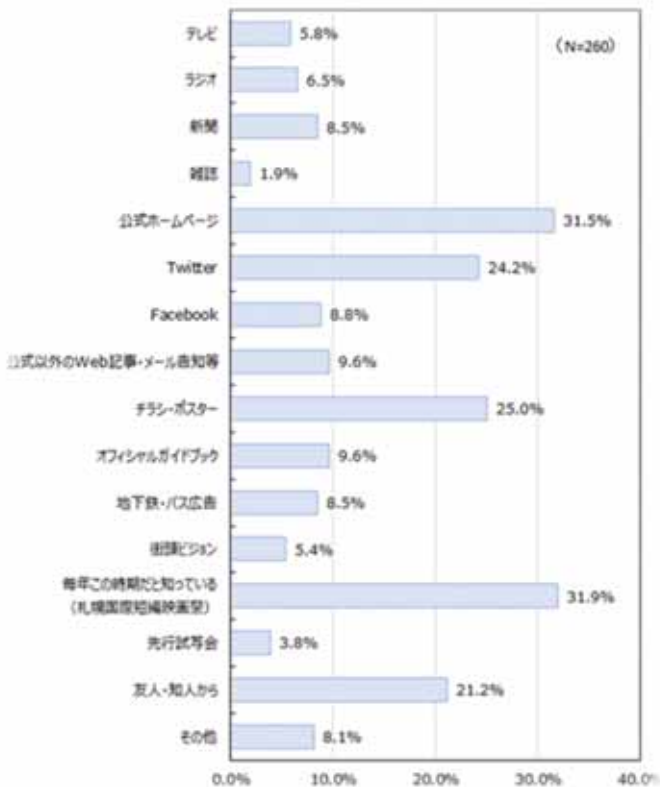


各分野への興味や満足度

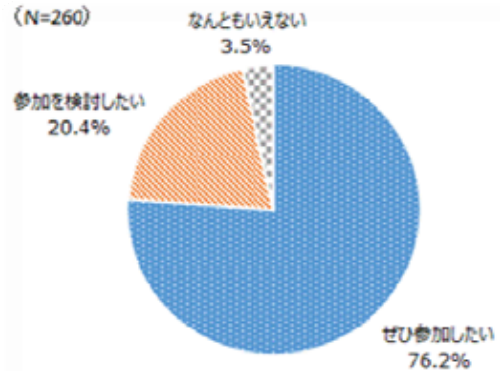
No Maps 2016開催に関する情報の入手場所等をみると、「毎年この時期だと知っている（札幌国際短編映画祭）」が31.9%と最も多く、これに差がなく「公式ホームページ」が31.5%と続いている。次いで「チラシ・ポスター」が25.0%、「Twitter」が24.2%、「友人・知人から」が21.2%と続いている。

来年以降のNo Mapsへの参加意向をみると、「ぜひ参加したい」が76.2%と最も多く、回答者全体の4分の3を占めている。また、友人・知人等をNo Mapsに誘いたいかどうかということについては、「興味がありそうな特定の友人・知人なら誘いたい」が66.2%と最も多く、次いで、「いろいろな人に声をかけたい」が27.5%となっており、回答者全体の9割以上が友人・知人等にも声をかけたいと考えている。

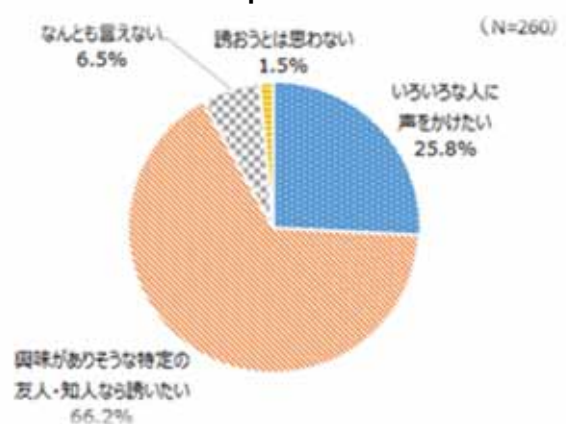
■ No Maps 2016に関する情報の入手場所



■ 来年以降の参加意向



■ 友人・知人等へのNo Mapsの紹介



No Maps 2017へ向けて

今後の展望

『No Maps』の本格開催に向け、その名称や目指している姿を多くの方に知ってもらうため、様々な体験と交流の場を提供することを目的にプレとして開催した「No Maps 2016」は、全ての会期を12月に終了した。

実行委員会の立上げからわずか半年、構想段階から数えても僅か1年程度しかない準備期間の中で、メイン期間で80本、すべての会期で開催されたものを加えると100近い事業を開催し、これらの事業への総参加者数は27,000人を超えることができたことを考えれば、プレ開催の目的はある程度達成することができたと言えるだろう。

しかしながら、国内ではほとんど例のない事業形態ということで、すべてが手探りで進めてきたこともあって、まだまだ思い描く姿にはほど遠く、十分な準備ができなかった事業、トライはしたが成果につながらなかった事業、検討はしたが実施に至らなかった事業が数多くあった。そして、成果を残すことのできた事業も含め、次年度以降の開催に向け数多くの改善点が浮き彫りになった。

大きな改善点としては主に以下の2点が挙げられるだろう。

■課題1 コンテンツ間の連携や融和があまり感じられないとの指摘が多かった

「Film」、「Music」、「Interactive」の3つのコンテンツを軸とした事業を多数展開したが、それぞれのコンテンツが融合して新たなシナジーが生まれるような事業を展開していくことができなかった。結果として、参加者に対して「興味のあるコンテンツのイベントに行った」という以上の体験をあまり提供できず、「No Maps」という新たなコンベンションに参加したという感覚は希薄になってしまった。

チャレンジとしてコンテンツ融合を目指した取組をいくつか行ったが、全体としては「コンテンツの連携・融和による新しい価値の提案」はあまり感じてもらうことができなかったことは大きな課題となった。

これらのことを踏まえ、本開催では「Film」、「Music」、「Interactive」という部門カテゴリに囚われないような運営体制や企画、そして打ち出し方の検討が重要になっていくものと考えられる。

■課題2 プロモーション、パブリシティが十分でないとの指摘が多かった

初めての開催ということで、「No Maps」という名称自体にまったく認知度のないところからのスタートになったが、冒頭にも述べたように準備期間が十分に取れなかったことと相まって、告知を十分に行うことができなかった。

「No Maps 2016」では、プレ開催ということもあり、地元である札幌・北海道の人たちを中心に知ってもらうことを意識して臨み、総来場者数は目標である2万人を超える結果となったが、関係者を含めて、多くの方からプロモーションが足りないのではないかと指摘をいただいた。また、併せて、事業がわかりにくいとの指摘も多数いただいた。

これらの指摘を真摯に受け止めて、本開催に向けて広報体制の強化と計画的な広報の実施を行っていくことが必要と考える。

もちろん、2016年を“プレ開催”とした理由の一つには、試験的に事業を展開することで課題を浮き彫りにし、より確かな形を創り上げて本開催を迎える、というテスト事業としての意味合いを多分に含んでおり、多くの改善点はより良い事業へと発展していくための“伸びしろ”と捉えたい。

No Maps 2017へ向けて ー今後の展望

【今後の展望】

「No Maps 2017」では、プレ開催で培った経験とノウハウ、ネットワークを活かしながら、浮き彫りになった課題をひとつひとつクリアし、多くの企業・団体等の参画・協力をいただきながら、クリエイティブな技術やアイデアを核とする新たなビジネス交流の場として確固たる地位を築いていけるよう準備をしていきたいと考える。

プレ開催を行ったことによって、参加者にとってだけでなく、運営側にとっても、手探りで進めてきた「No Maps」という事業の全体像をようやく掴むことができた。継続していくべき点、改善していくべき点、切り捨てるべき点など、プレ開催を基準として考えることができるようになったことで、より効果的な事業へとブラッシュアップしていくことができるだろう。

特に「No Maps 2017」の開催に向けては、以下の点を重要なポイントとして準備をしていく。

○「No Maps」のコンセプトの再確認

No Mapsが、様々な取組を通じて「新たなビジネスを生み出し、加速させる」ための場であることを再確認し、企業やクリエイターに対して「場の提供」を行っていくための事業であることを、しっかりと浸透させていきたい。

プレ開催では「自らが実践する」以外に方法がなかったこともあって、No Maps実行委員会が一から企画し実施する事業が多かったが、「No Maps自身が何かを行う」のではなく、「企業やクリエイター等にNo Mapsという場で何かを行ってもらおう」という本来の趣旨に沿った事業へと舵を取っていく。

その上で、No Mapsのコンセプトを、「“新しい価値”を社会に投げかけるモノ・コト・サービス及びその制作に関わる人たちが集い、お互いのコンテンツを披露し合い、様々な場面で交流し、新たなビジネスや社会づくりにつなげていける場の創出」と整理し、このコンセプトに合致する事業を企画・運営していくこととする。

○新たな事業区分の設定

「No Maps 2016」において大きな課題となったコンテンツ間の連携を促進させるため、事業区分にもなっていた「Film」、「Music」、「Interactive」というコンテンツの種類での区分を止め、事業の種類で整理をする方向へ転換する。

具体的には、「Sapporo Creative Convention」の名のもとに、「会議（Conference）」、「展示（Exhibition）」、「興行（Event）」、「交流（Meet-up）」、「実験（Experiment）」の5つの事業を複合的に展開し、この各事業の中で、「Film」、「Music」、「Interactive」が交わり、融合して新しい価値を生み出していくよう企画・運営体制から見直しを図っていく。

そして、これら5つの事業の中でも、特に「交流（Meet-up）」と「実験（Experiment）」にかかる事業を今後のNo Mapsの柱とできるよう、試験的な取組を重ねていく。

○広報の強化

スケジュールの都合もあって、十分な告知ができなかった「No Maps 2016」の反省を受け、事務局に広報担当を配置し、計画的な広報展開を行っていくこととする。

特に、本開催となる2017年は、東京をはじめとする道外のビジネスマン・クリエイターにNo Mapsへの参加を促していくことが重要と考えており、これらの層への告知展開に注力をしていく。



【問合せ先】

No Maps実行委員会（担当：事務局・廣瀬）

〒003-0005
札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1
インタークロス・クリエイティブ・センター 2FH
TEL 011-812-2000 FAX 011-812-2001
E-mail info@no-maps.jp URL <http://no-maps.jp>